

東京都債券市場

第5回債券発行 政策効果測定

報告書

(参加企業調査/アンケート編)

東京都産業労働局

平成16年7月

目次 (本編)

1. 調査概要	-----	
2. 調査結果の分析	-----	
【第1部】		
<u>今回のローン担保証券(CLO)、社債担保証券(CBO)について</u>		
問 1. どこでこのCLO/CBOをしりましたか	-----	
問 2. CLO/CBOを利用しようと思った理由・メリットは何ですか	-----	
問 3. CLO/CBOの条件面についてネックと感じたこと、今後改善を望むこと	-----	
問 4. 今回の申込みに関して感じたこと、改善を望むこと	-----	
問 5. 今回の資金は何に使う予定ですか	-----	
(今回、債券市場では、(A)純民間型CLO、(B)保証協会利用型CLO、 (C)社債発行型CBO、の3つのしくみで参加企業を募集)		
問 6. ご利用になったもの以外のしくみについても検討されましたか	-----	
問 7. CLO/CBOをご利用されての意見や感想(自由記入)	-----	別冊
第2回CLO利用企業の方に		
問 8. 第2回CLOの資金の主な用途	-----	
【第2部】		
<u>資金調達について</u>		
問 9. 今までの資金調達方法	-----	
問10. 今後の希望する資金調達方法	-----	
問11. 保証なしCLO・CBO利用の金利水準は	-----	
問12. 保証なし希望金額と期間	-----	
問13. ディスクロージャーについての考え	-----	
問14. 今後のCLO/CBOの利用意向	-----	
問15. 今後のわかりやすい広報媒体	-----	
1. 問12. 利用希望金額別	-----	
2. 問12. 利用希望理由・メリット	-----	
2. 問12. 利用希望金額別	-----	
3. 条件でのネックと今後の改善点	-----	
3. 資料編		
調査票	-----	
調査結果集計表	-----	

1 - 1 . 調査目的

本調査は、東京都第5回債券市場参加企業を対象にアンケート調査を行うことにより、今後の施策の参考資料とすることを目的とした。

1 - 2 . 調査対象

第5回債券市場(平成16年3月債券発行)参加企業1,548社から、以下の1,000社を抽出し調査対象とした。

方式	内 容	対象社数	抽出数
A	純民間型CLO(ローン担保証券)参加企業	344	212
B	保証付CLO(ローン担保証券)参加企業	1,093	677
C	CBO(社債担保証券)参加企業	111	111
	合 計	1,548	1,000

1 - 3 . 調査方法

郵送留置き・郵送回収。なお、期限までに返送されない対象企業には、電話による調査協力の督促を実施。

1 - 4 . 調査期間

平成16年5月～平成16年6月

1 - 5 . 回収結果

方式	抽出数	回収数	回収率	有効回収数	有効回収率	無効票
A	212	55	25.9	55	25.9	0
B	677	336	49.6	335	49.5	1
C	111	58	52.3	58	52.3	0
計	1,000	449	44.9	448	44.8	1

1 - 6 . 調査実施機関

株式会社 アイ・スリー・サービス

注1.用語・符号等

[n] 質問に対する回答者数で、比率算出の基数を示す。

() 内数値は実数値である。

注2.結果数値(%)

図表では少数第2位を四捨五入している。
内訳の合計が一致しないことがある。

注3.時系列での回数とは

第1回 = 平成12年3月

第2回 = 平成13年3月

第3回 = 平成14年3月

第4回 = 平成15年3月

第5回 = 平成16年3月

2. 調査結果の分析

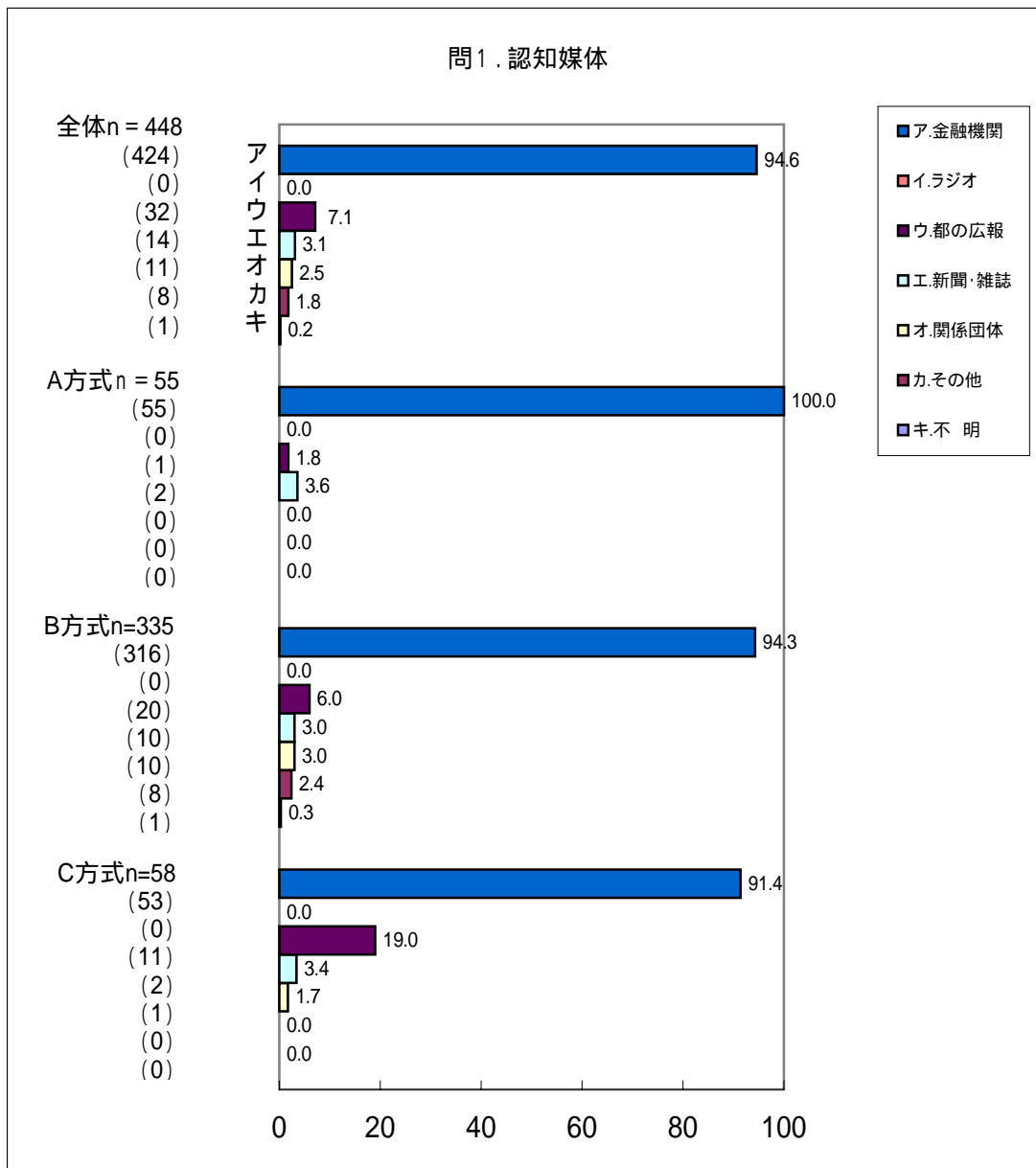
2. 調査結果の分析

【第1部】 今回のローン担保証券(CLO)、社債担保証券(CBO)について

問1. どこでこのCLO/CBOをしりましたか。(複数回答可)

認知媒体で一番多いのは、方式別に係らず「金融機関」が9割以上を占めている。

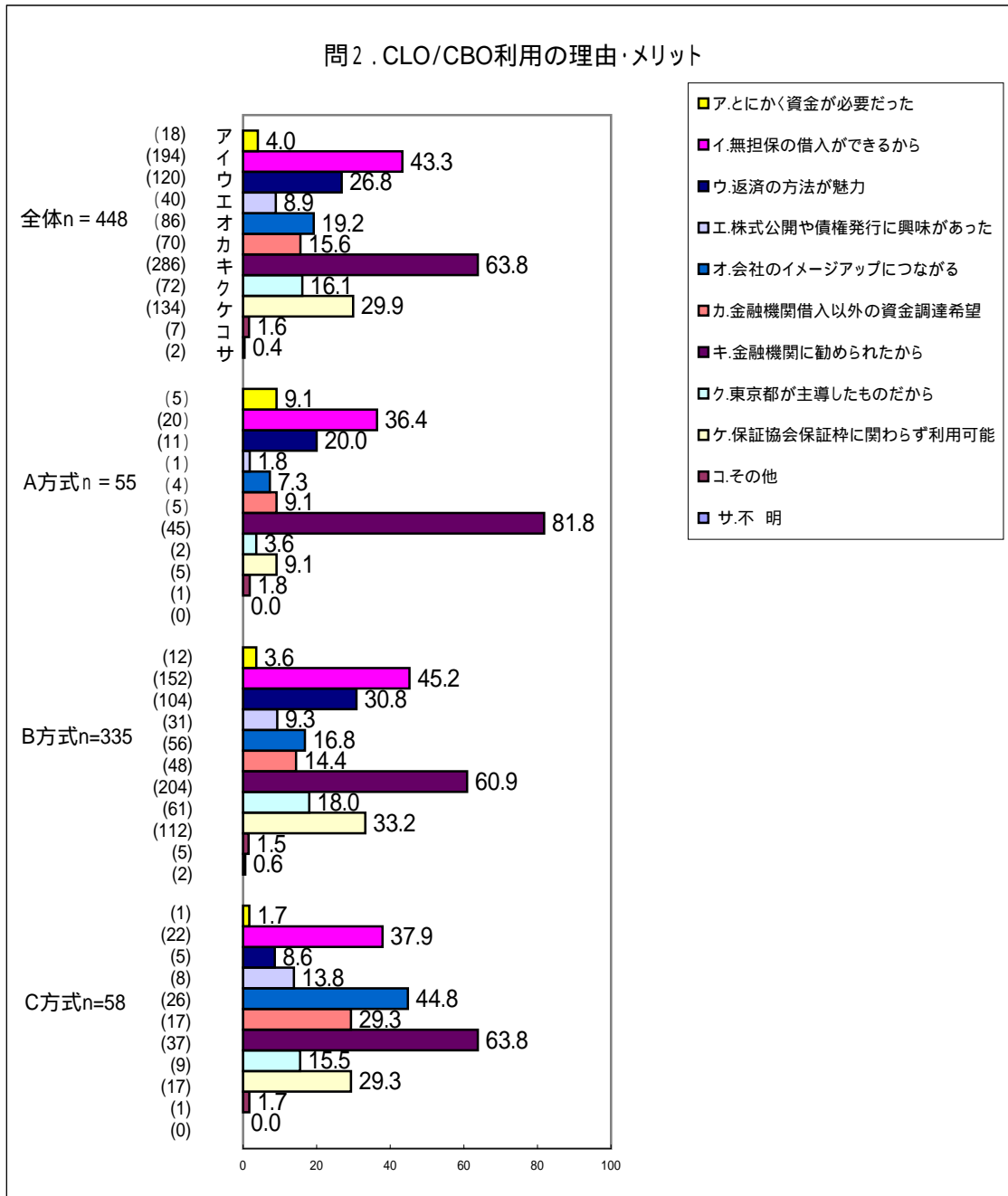
- 方式別に認知媒体状況を見ると、B・C方式で「都の広報」の回答が(6.0%)・(19.0%)とある。



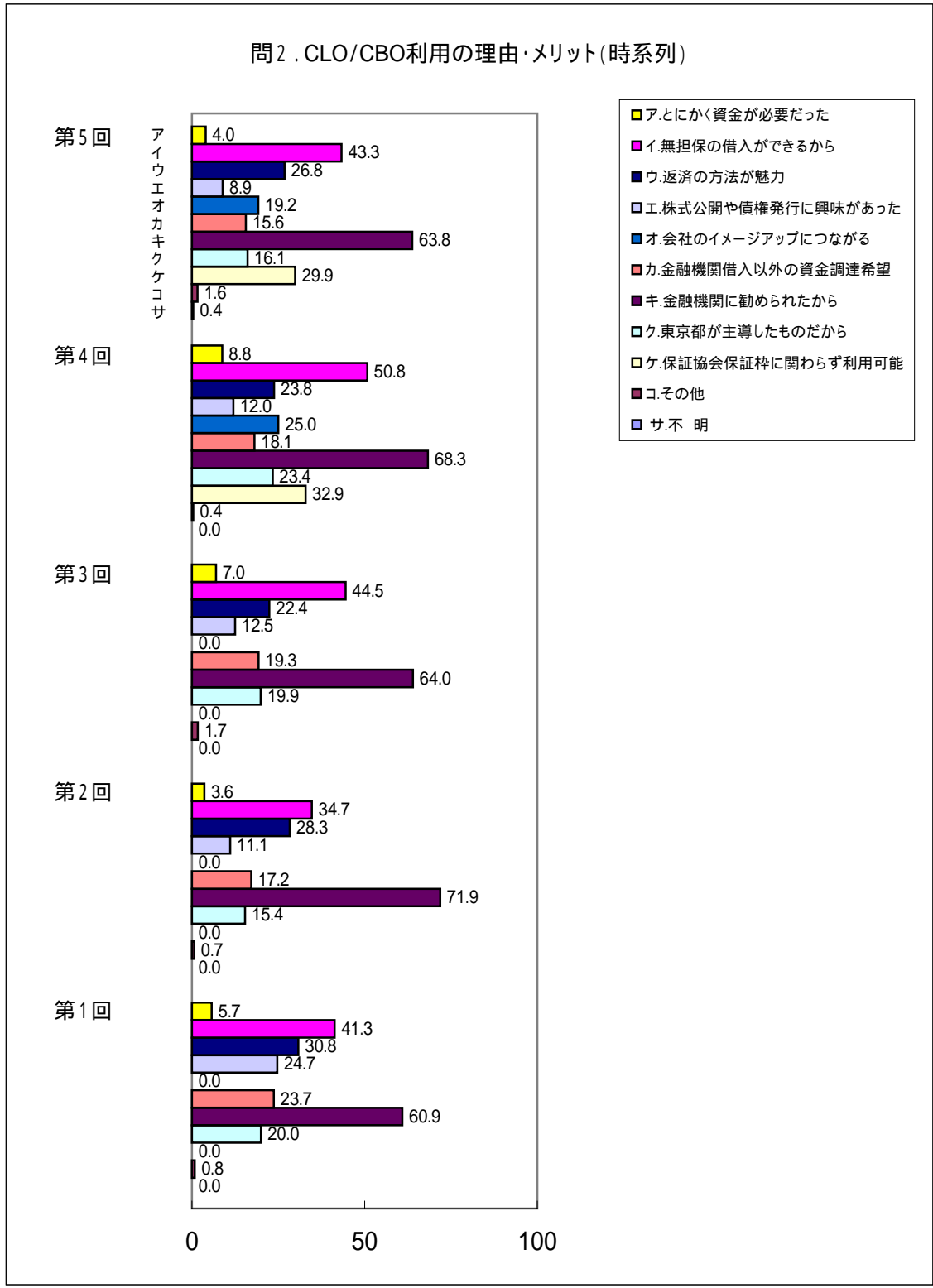
問2 . CLO/CBOを利用しようと思った理由・メリットは何ですか(複数回答可)

利用理由・メリットの回答順位は、1位が「金融機関に勧められたから」(63.6%)、2位が「無担保の借入ができるから」(43.4%)の順になっている。

- 方式別に利用理由・メリットを見ると、A方式(81.8%)、B方式(60.9%)、C方式(63.8%)と各方式とも1位は「金融機関に勧められたから」である。
 しかし、2位はA方式(36.4%)、B方式(45.4%)で「無担保の借入ができるから」に対し、C方式は(44.8%)で「会社のイメージアップにつながる」になっている。
 また、3位にはA方式(20.0%)で「返済の方法が魅力」、B方式は(33.4%)で「保証協会保証枠に係らず利用可能」、C方式は(37.9%)で「無担保の借入ができるから」となっている。



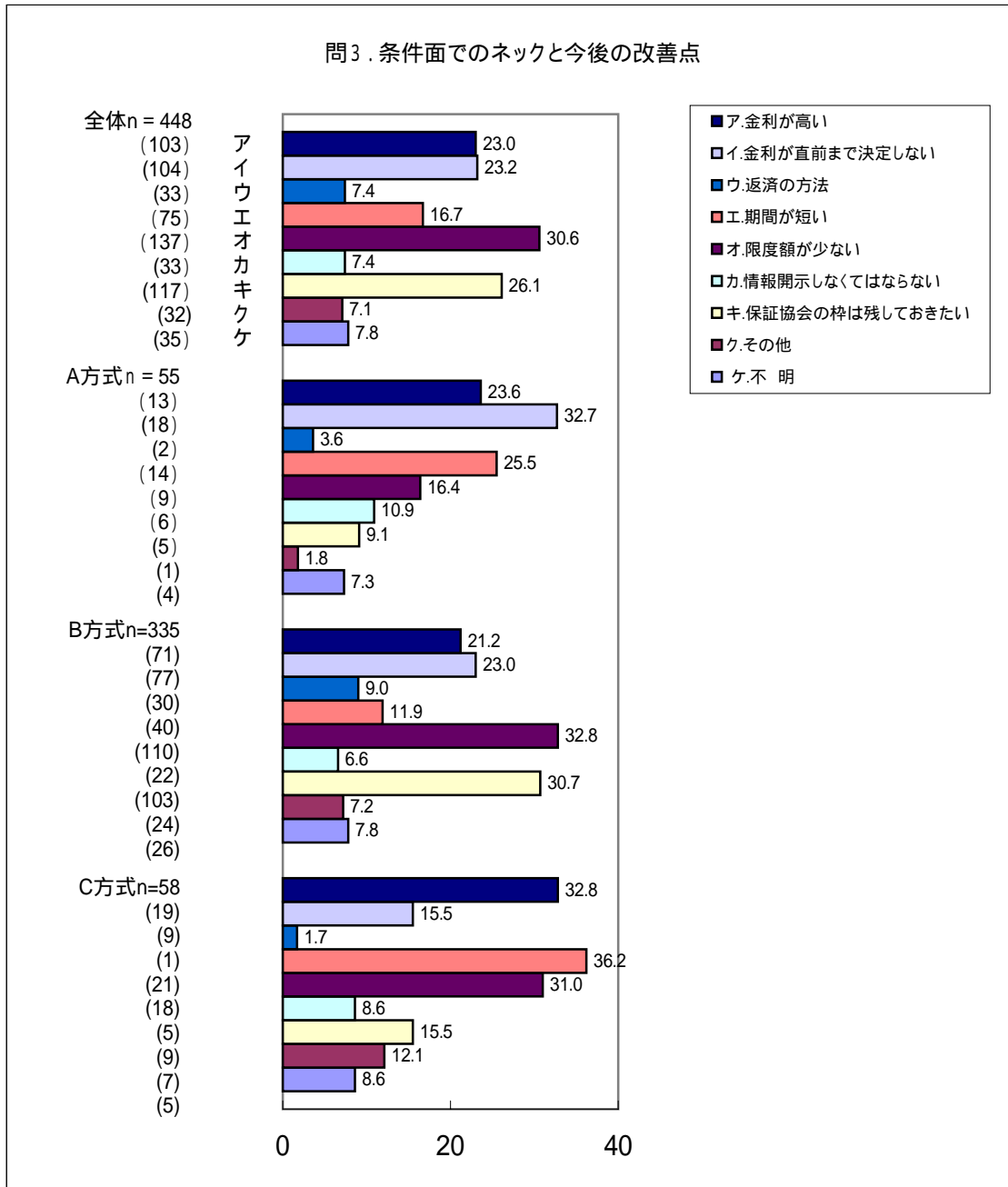
- 調査結果を時系列で見ると、第1回から第5回(今回)までの各回とも回答順位での大きな変化は見られない。
 しかし、「保証協会保証枠に関わらず利用可能」の項目が前回から増えたことで前回との比較を見ると、前回(32.9%)が今回(29.9%)とやや減少しているが、「返済の方法が魅力」については前回(23.8%)に対し今回(26.8%)とやや増加している。



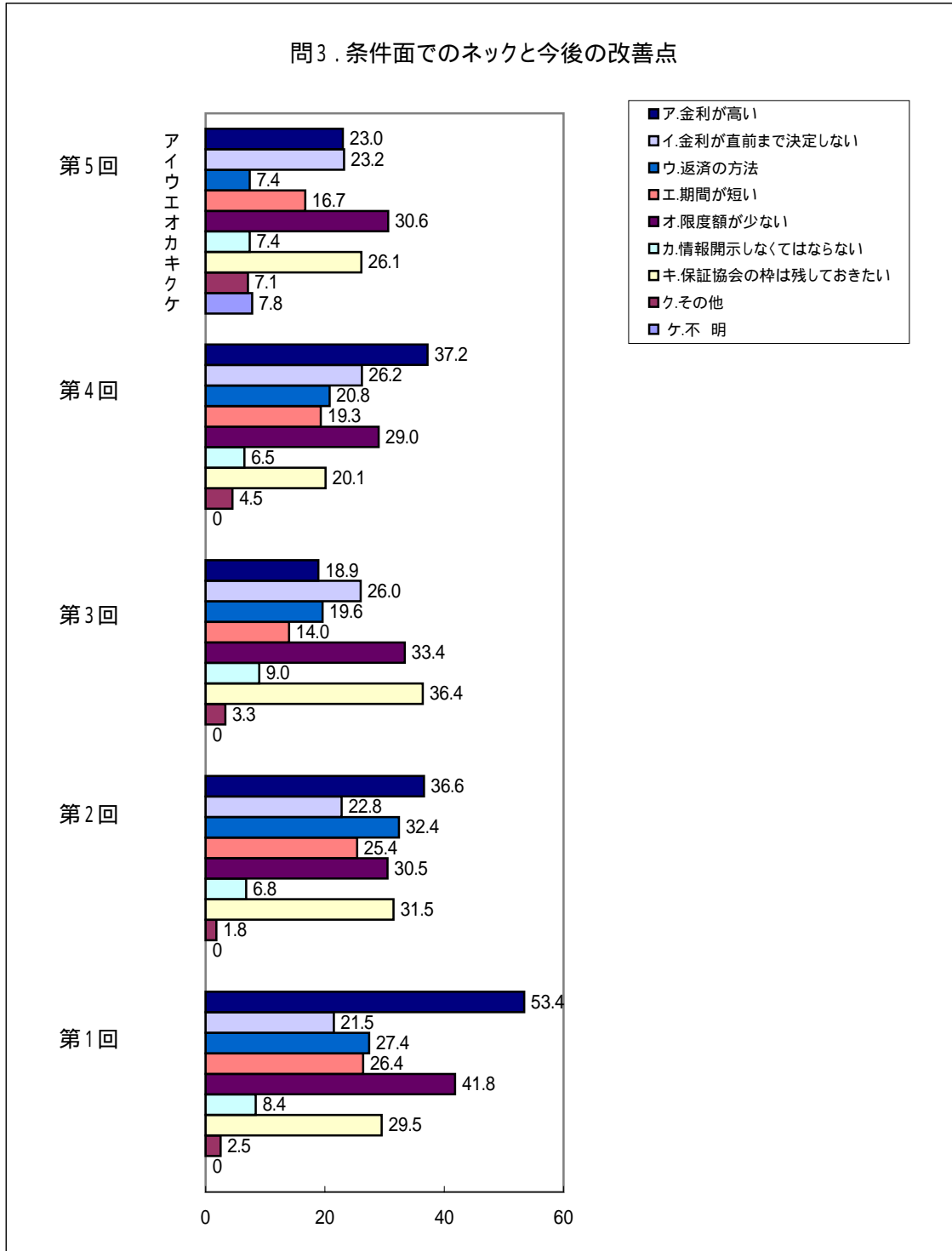
問3. CLO/CBOの条件面についてネックと感じたこと、今後改善を望むこと(複数回答可)

条件面全体で見ると、「限度額が少ない」が(30.6%)と最も多く、次に「保証協会の枠は残しておきたい」(26.1%)「金利が直前まで決定しない」(23.2%)と続いている。

- 方式別に条件面を見ると、最も多いのはA方式が「金利が直前まで決定しない」(32.7%)、B方式は「限度枠が少ない」(32.8%)、C方式では「期間が短い」(36.2%)と方式別で条件面が異なる。なお、二番目に多い条件面については、A方式が「期間が短い」(25.5%)、B方式が「保証協会の枠は残しておきたい」(30.7%)、C方式では「金利が高い」(32.8%)
- そして、三番目はA方式が「金利が高い」(23.6%)、B方式は「金利が直前まで決定しない」(23.0%)、C方式は「限度額が少ない」(31.0%)の順である。



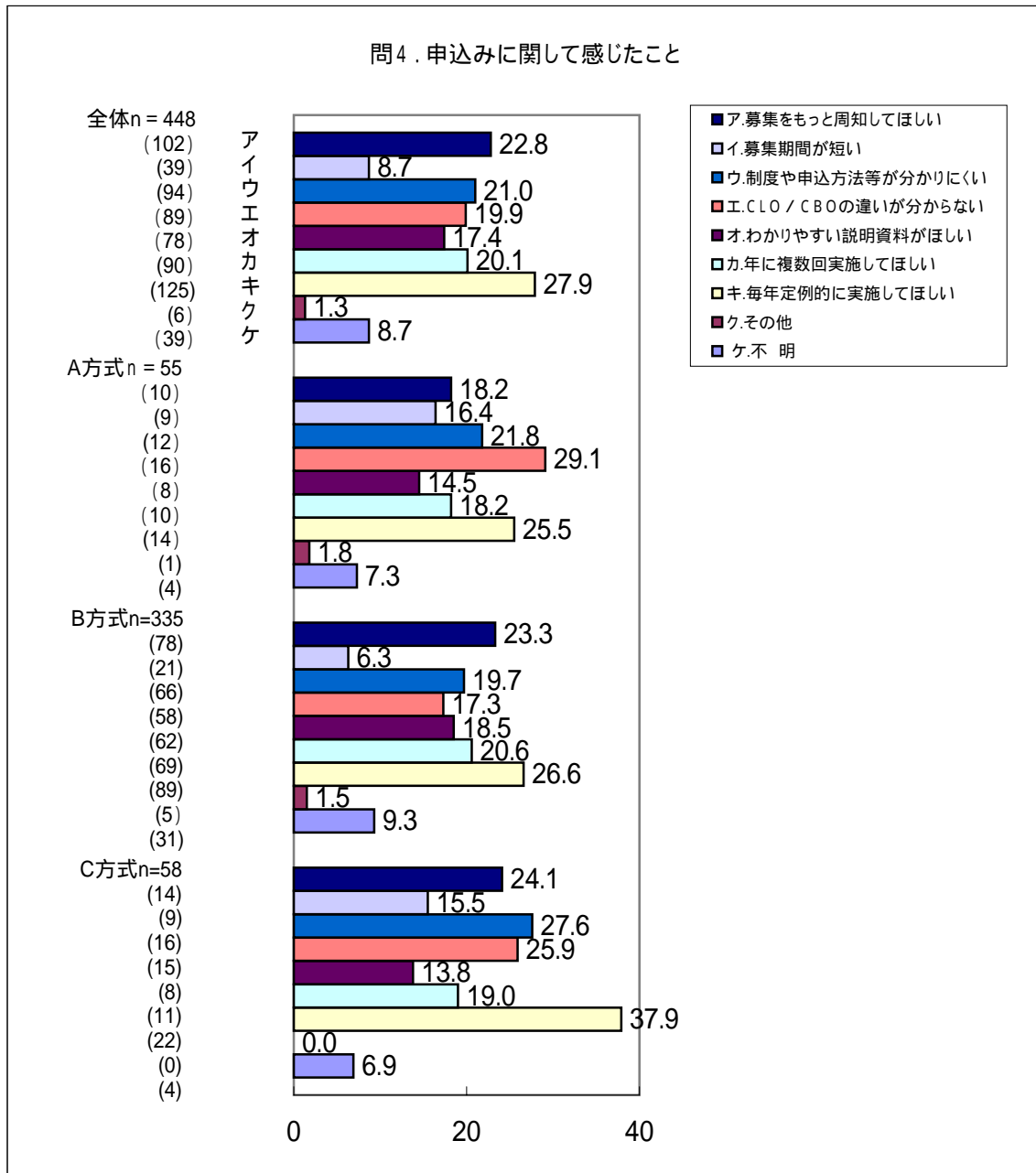
- 条件面でのネックと今後の改善点を時系列で見ると、「金利が高い」が第1回に(53.4%)であったのが第2回(36.6%)、第3回(18.9%)、第4回(37.2%)、そして第5回(23.0%)と第1回目から見ると、30ポイント下がっていて、金利に対する改善は進んでいるものと考えられる。また、「返済の方法」では、第1回(27.4%)、第2回(32.4%)、第3回(19.6%)、第4回(20.8%)、そして、第5回は(7.4%)と第1回から見て20ポイント下がって大きく改善されていると思われる。なお、今回(第5回)の最多回答である「限度額が少ない」(30.6%)については、時系列での大きな変化は見られない。



問 4 . 今回の申込みに関して感じたこと、改善を望むこと(複数回答として処理)

申込みに関して感じたこと・改善を望むことで最も多いのは、「毎年定期的を実施してほしい」(27.9%)、次が「募集をもっと周知してほしい」(22.8%)の順になっている。

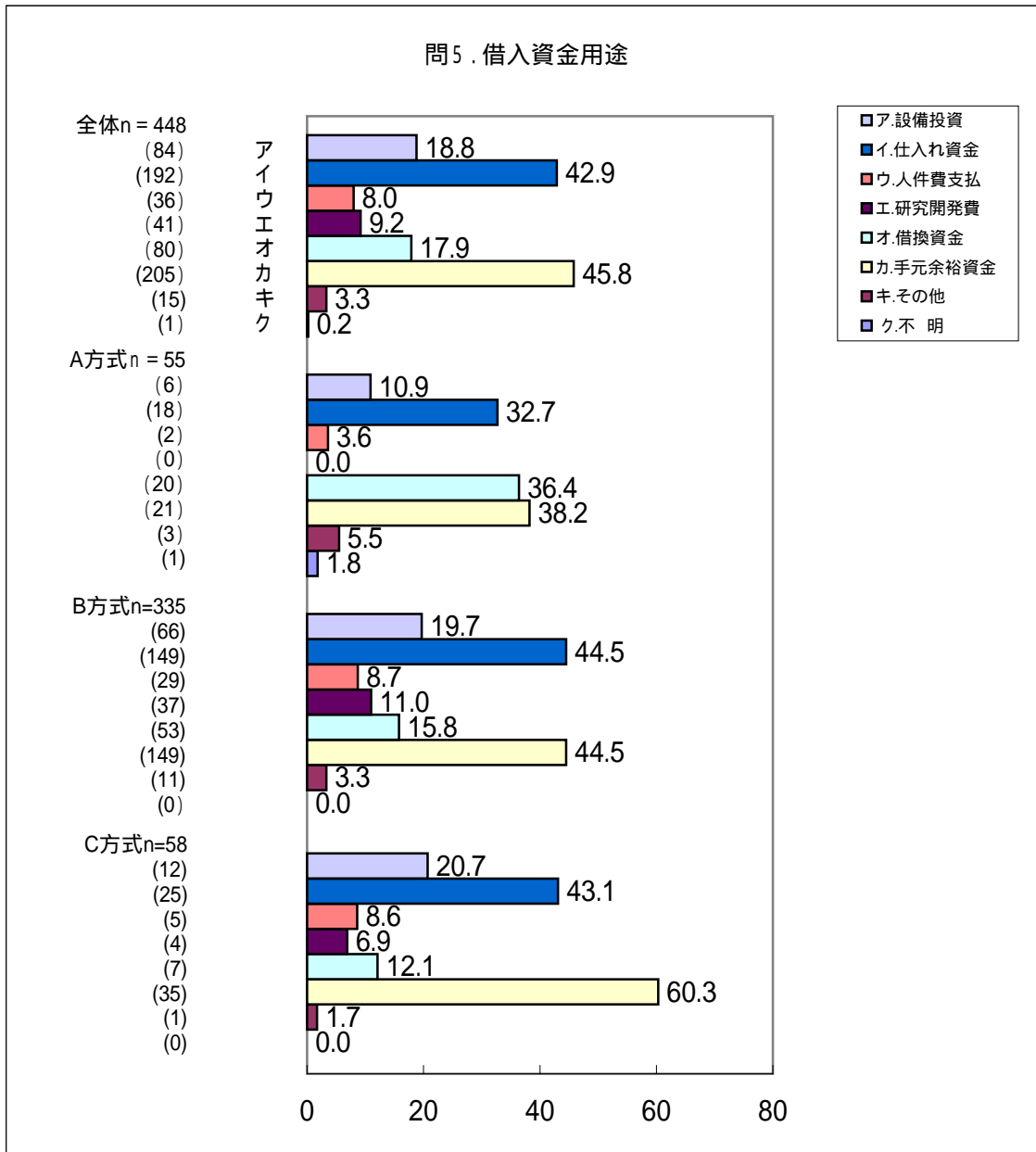
- 方式別に申込みに関して感じたことと改善を望むことを見ると、最も多いのはA・B・C方式とも「毎年定期的を実施してほしい」が順に(25.5%)・(26.6%)・(37.9%)となっている。二番目はA方式が「CLO / CBOの違いが分からない」(29.1%)、B方式は「募集をもっと周知してほしい」(23.3%)、C方式は「制度や申込方法等が分かりにくい」(27.6%)となり、三番目はA方式「制度や申込方法等が分かりにくい」(21.8%)、B方式「年に複数回実施してほしい」(20.6%)、C方式「CLO / CBOの違いが分からない」(25.9%)となっている。最も多いものは、A・B・Cとも共通しているが、二番目・三番目は方式での違いが出ている。



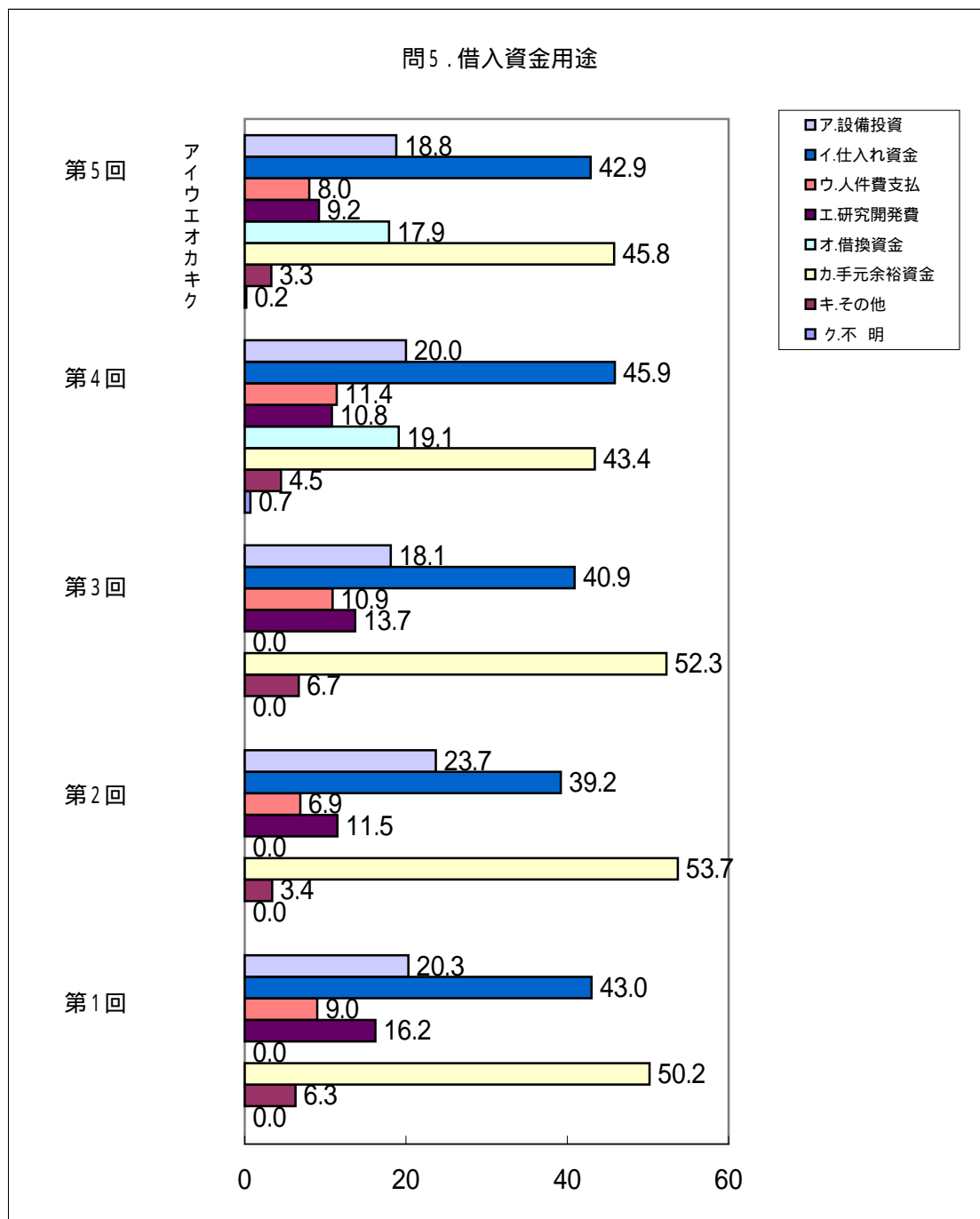
問5. 今回の資金は何に使う予定ですか。(複数回答可)

今回の資金使用用途の一番多いのは「手元余裕資金」(45.8%) 二番目は「仕入れ資金」(42.9%)、三番目が「設備投資」(18.8%)の順である。

- 方式別に資金使用用途を見ると、最も多いのはA・B・C方式とも「手元余裕資金」の回答で(38.2%)・(44.5%)・(60.3%)となっているが、B方式は「仕入れ資金」も同率の(44.5%)と並んでいる。二番目は、A方式が「借換資金」(36.4%)C方式「43.1%」で、三番目はA方式「仕入れ資金」(32.7%)でB・C方式とも「設備投資」(19.7%)・(20.7%)の順になっている。



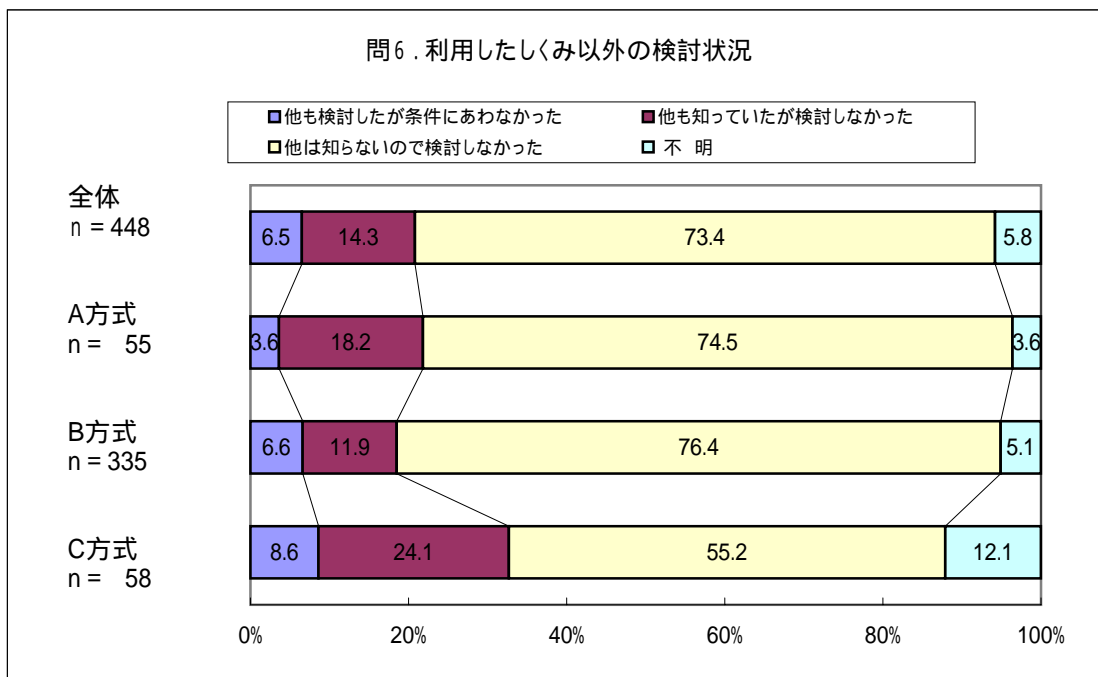
- 借入資金用途を時系列で見ると、各回とも最も多いのは「手元余裕資金」との回答が50%前後あるが、今回と前回は(45.8%)・(43.4%)となっている。
二番目に多いのは「仕入れ資金」で各回とも40%以上を示している。
また、三番目は「設備投資」でやはり各回とも20%前後を示している。
なお、「借換資金」については前回から増えた項目で前回(19.1%)、今回(17.9%)となっている。



問 6 . ご利用になったもの以外のしくみについても検討されましたか。

全体での7割以上が「他のしくみについては、知らなかったので、検討しなかった」と回答している。

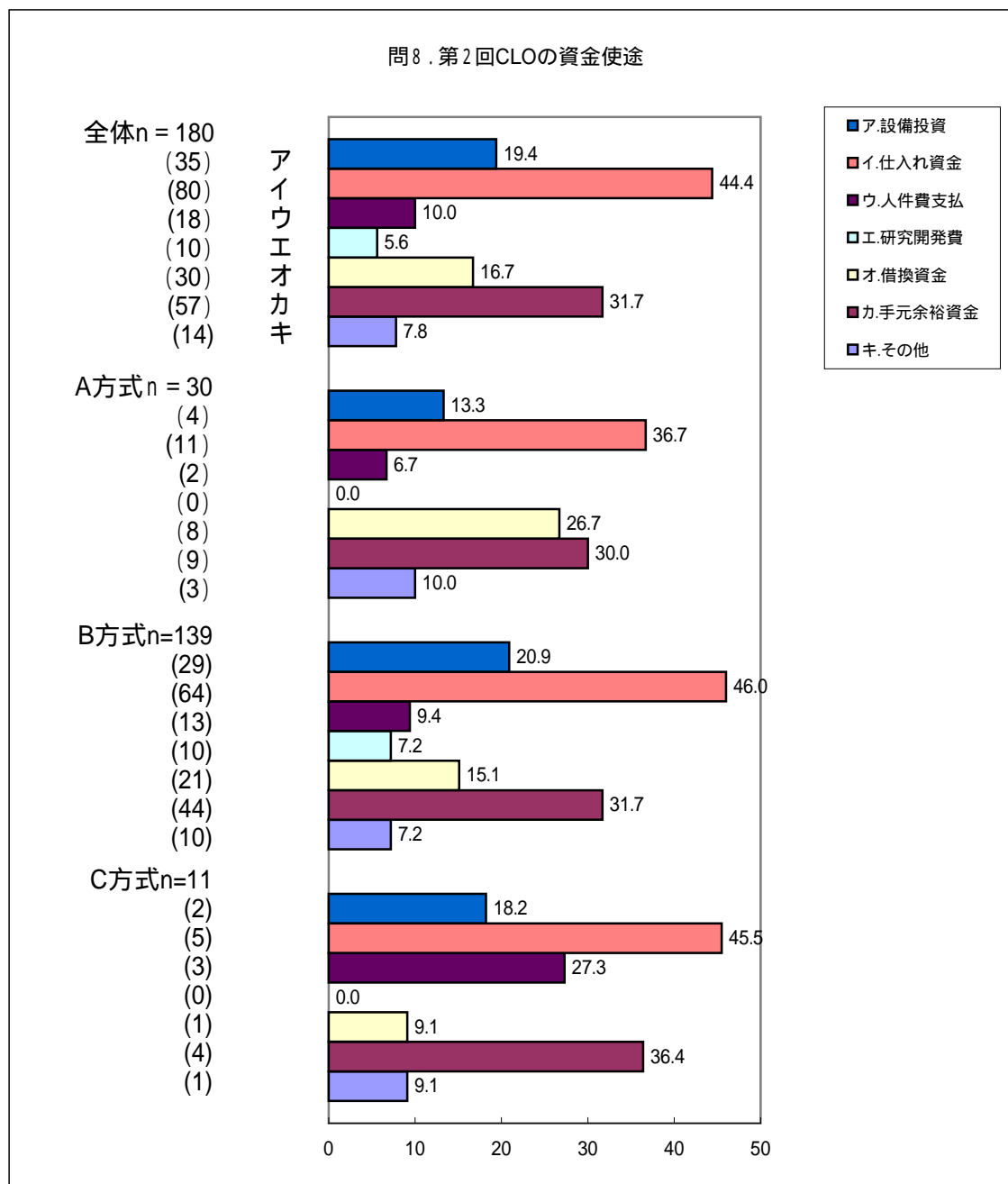
- 方式別に検討状況を見ても、各方式とも「他は知らなかったので検討しなかった」が最も多く、A方式(74.5%)、B方式(76.4%)C方式(55.2%)となっている。
 なお、「他も知っていたが検討しなかった」についてはA式(18.2%)、B方式(11.9%)C方式(24.1%)とC方式はA・B方式より多い。



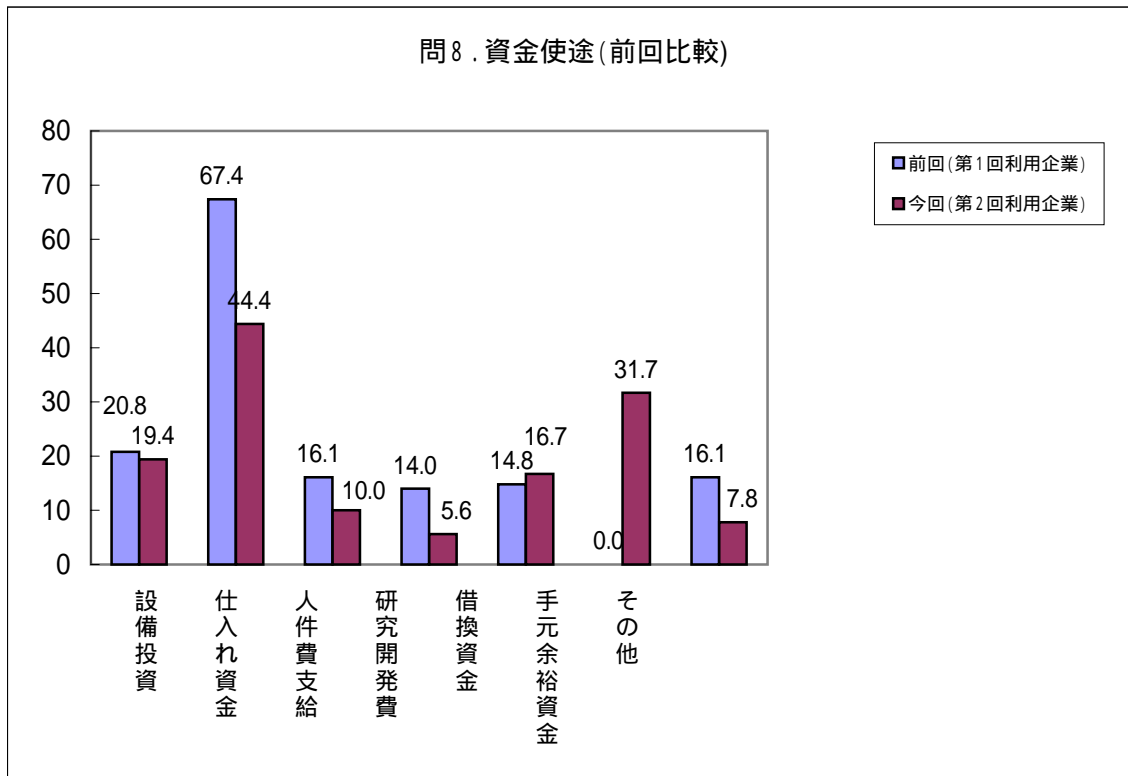
問 8 . 第2回CLOの資金の主な用途(複数回答可)
 (今回参加企業のうち第2回利用企業の回答)

第2回資金用途利用者の利用が最も多かったのは「仕入れ資金」の(44.4%)、次に「手元余裕資金」の(31.7%)、三番目が「設備投資」の(19.4%)となっている。

- 方式別に見ると、A・B・C方式とも「仕入れ資金」が最も多く(36.7%)・(46.0%)・(45.5%)となり、二番目も各方式で「手元余裕資金」(30.0%)・(31.7%)・(36.4%)となっている。しかし、三番目は、A方式は「借換資金」(26.7%)、B方式「設備投資」(20.9%)、C方式「人件費支払」(27.3%)と三番目については方式によって違いが出ている。



- 全体を前回(第4回)の調査結果と今回を比較して見ると、前回に無い項目で今回あらたに「手元余裕資金」が追加されたことにより全体的に他の項目から流れたようだが、前回同じ項目があれば今回の結果と大きな差は無いように思われる。

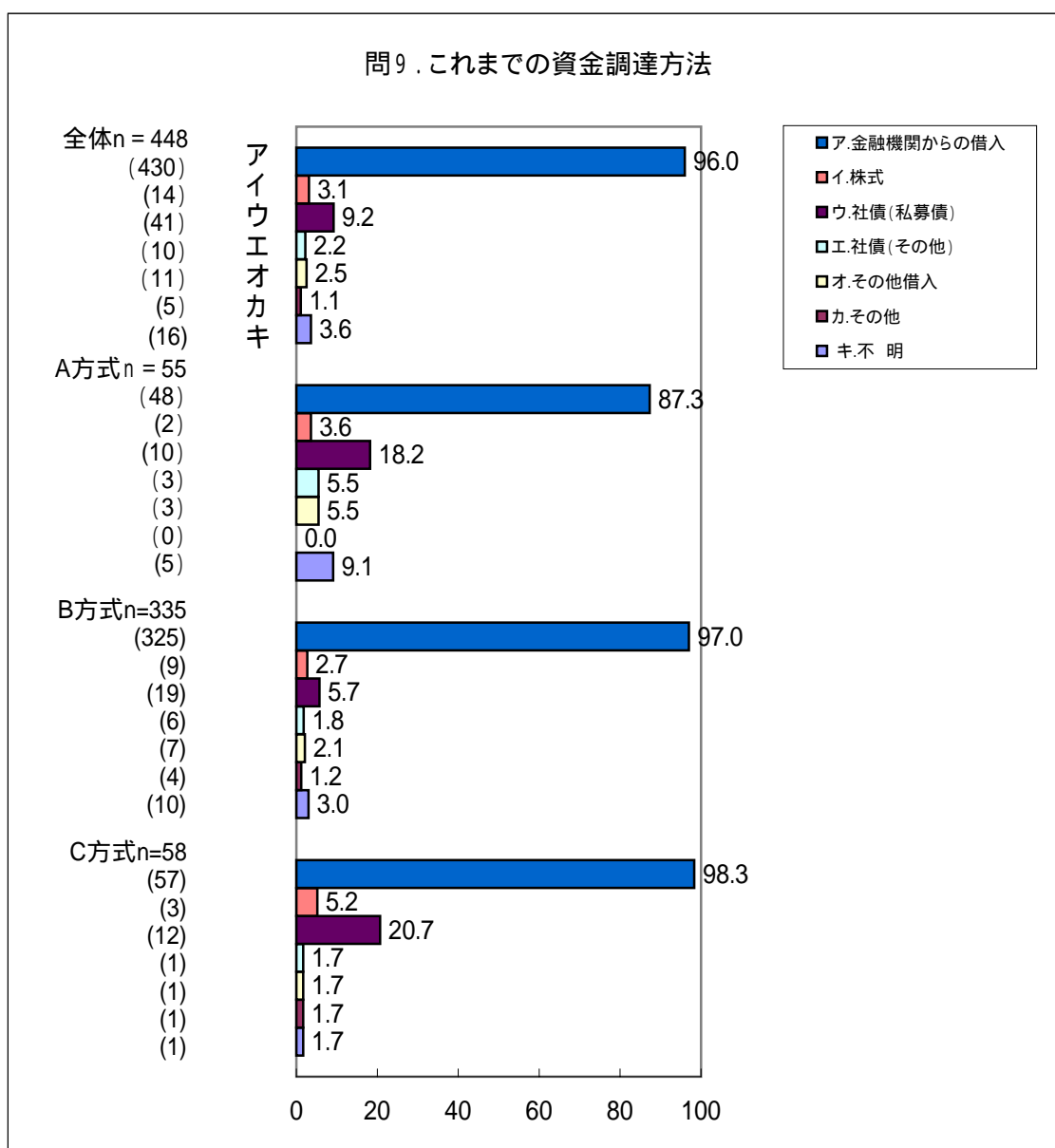


【第2部】資金調達について

問9. 今までの資金調達方法(複数回答可)

これまでの資金調達の方法は「金融機関からの借入れ」が(96.0%)とほとんどの企業が金融機関である。

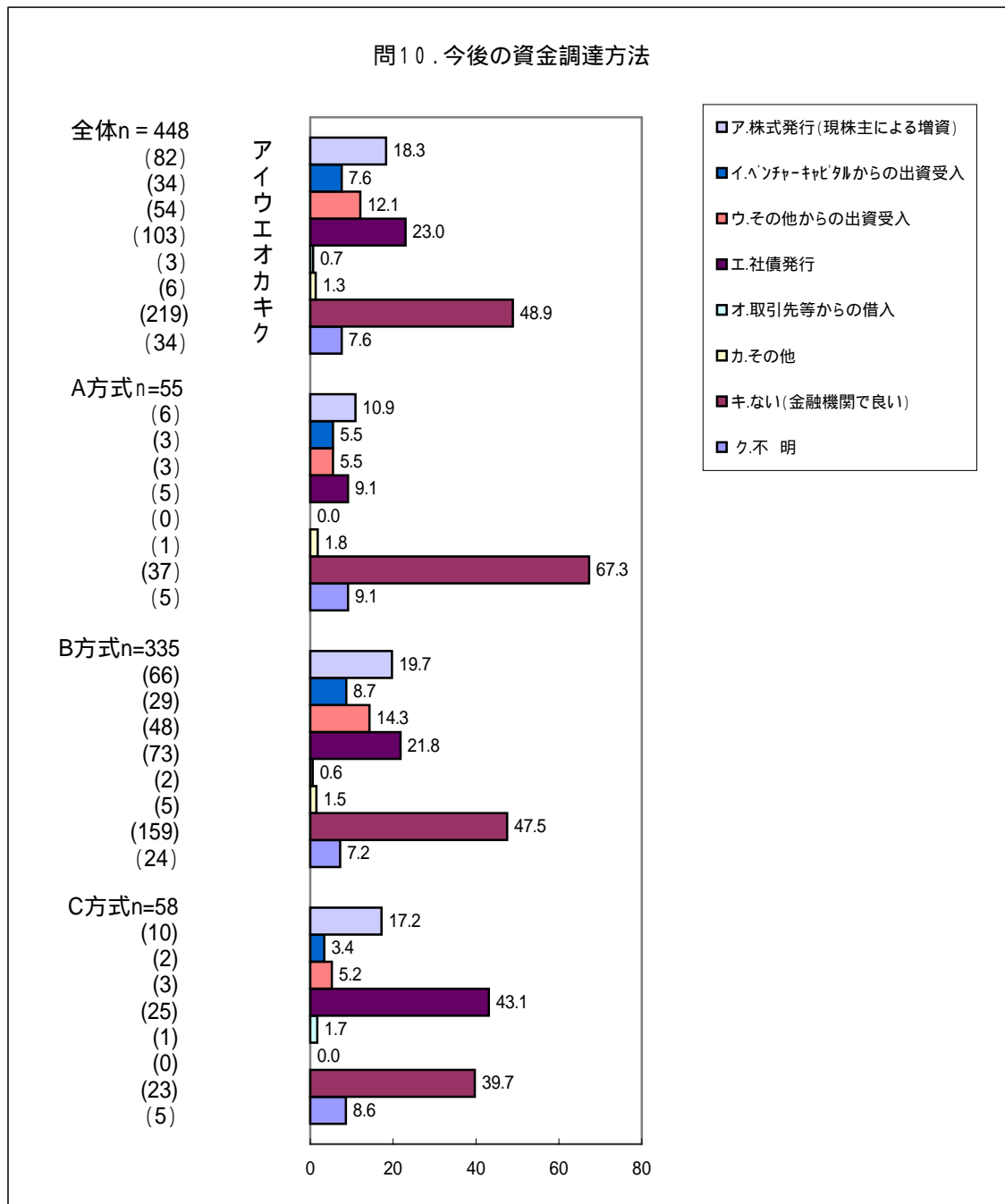
- 方式別に見ると、A・B・Cとも「金融機関からの借入れ」が大部分を占めていて、A方式がやや90%を割り込んでいるが全体で9割以上となっている。
 なお、各方式別に他の項目を見ると、A・C方式で「社債(私募債)」が(18.2%)・(20.7%)と2割程度の回答がある。



問 10 . 今後の希望する(金融機関借入以外)資金調達方法(複数回答可)

「社債発行」が(23.0%)、次いで「株式発行(現株主による増資)」が(18.3%)である。

- 方式別最も多い回答はA・B方式が「ない(金融機関借入のみで良い)」A方式(67.3%)、B方式(47.5%)、となっているが、C方式は「社債発行」が(43.1%)となっている。
 なお、「社債発行」を見るとA方式(9.1%)、B方式(21.8%)に対しC方式(43.1%)と方式での違いがある。

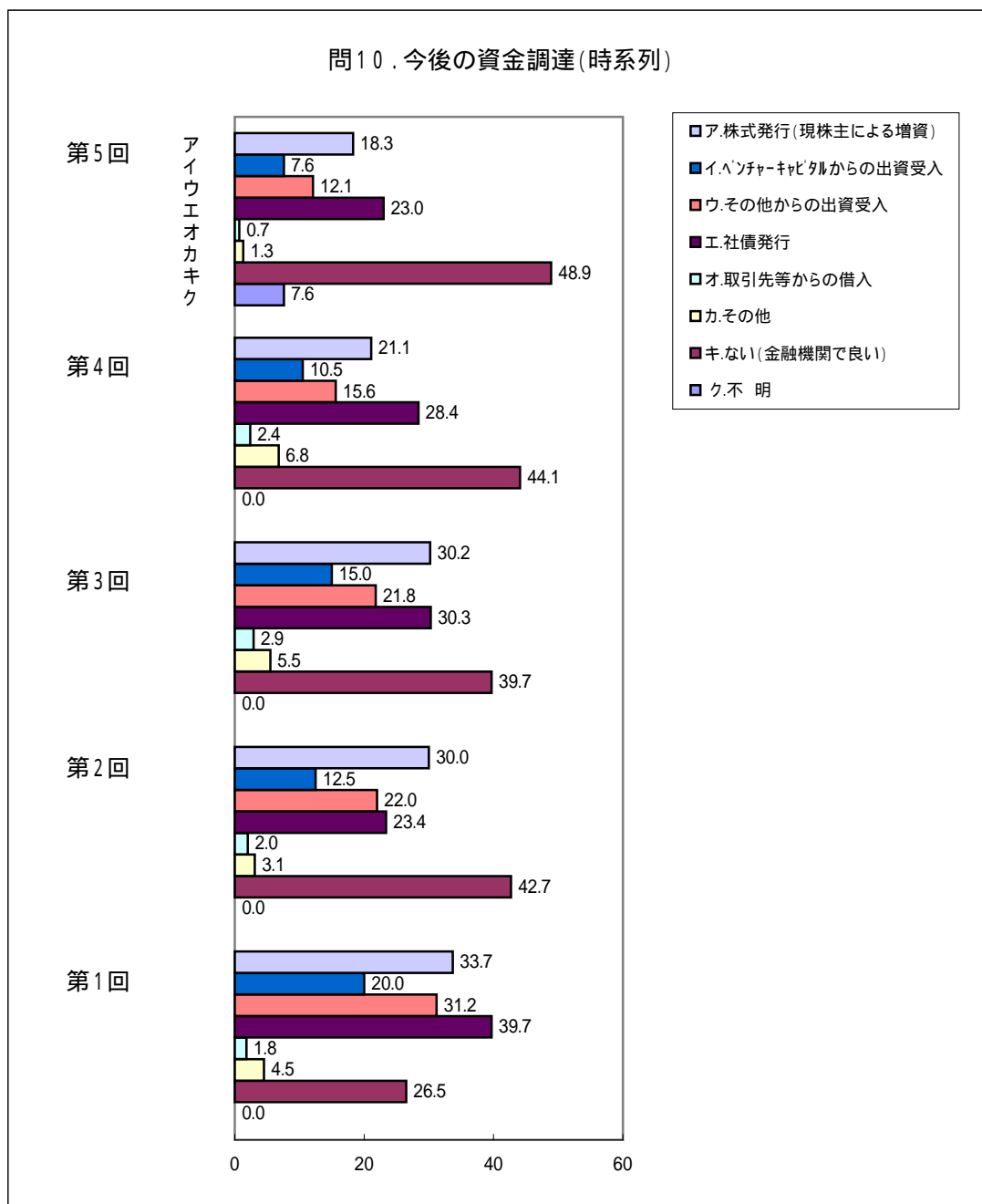


- 今後の資金調達を時系列で見ると、やはり各回とも「ない(金融機関のみで良い)」が高い水準にあり、回を重ねるごとに増え、第1回(26.5%)、第2回(42.7%)、第3回(39.7%)、第4回(44.1%)、第5回(48.9%)となっている。

 なお、他の各項目を見ると「現株主による増資」は第1回から順に(33.7%)、(30.0%)、(30.2%)、(21.1%)、そして今回(第5回)が(18.3%)と毎回(年々)下がって、前回との差は3ポイントであるが第1回との差は15ポイントである。

 「ベンチャーキャピタルからの出資受入」についても第1回から順に(20.0%)、(12.5%)、(15.0%)、(10.5%)そして今回(第5回)(7.6%)と前回差3ポイントで第1回との差は13ポイントと年々下がっている。

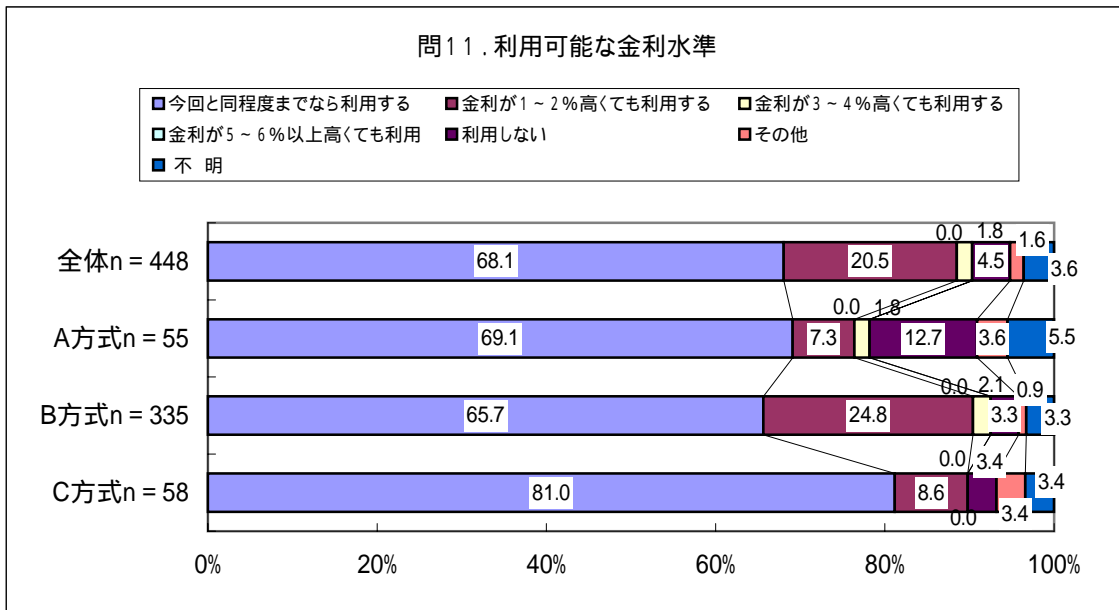
 また、「社債発行」についても第1回(39.7%)、(23.4%)、(30.3%)、(28.4%) (23.0%)と前回比較5ポイント、第1回比較17ポイントとこれも下がっている。



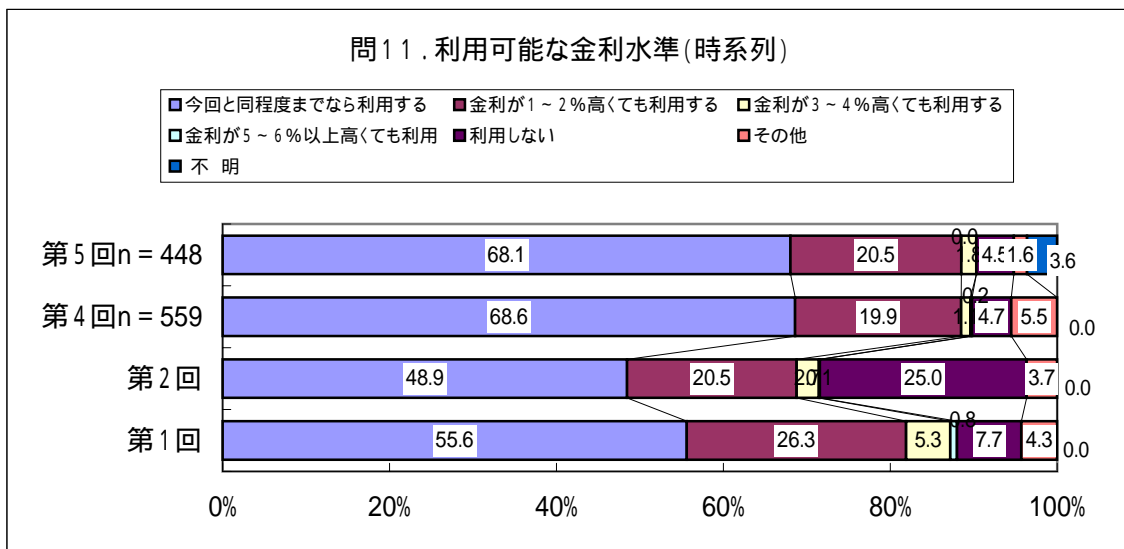
問 11.保証協会の保証なしCLO・CBO利用の金利水準

利用できる金利水準を聞いたところ、「金利が今回と同程度までなら利用する」が最も多く全体の約7割(68.1%)を占めている。

- 方式別に見ても、A・B・C方式とも「今回と同程度までなら利用する」が最も多く(69.1%)・(65.7%)・(81.0%)となっている。しかし、A方式では「利用しない」が(12.7%)と他の方式より多く、B方式では「金利が1~2%高くても利用する」が(24.8%)と他方式よりも多い。また、C方式については「今回と同程度までなら利用する」が(81.0%)と他方式よりも10ポイント以上多い。



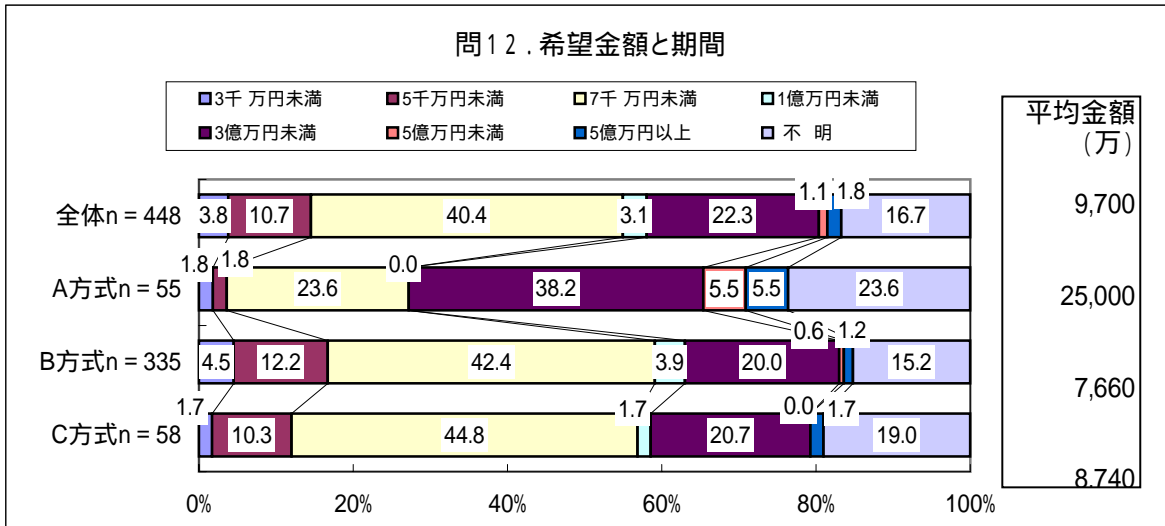
- 時系列で利用可能な金利水準を見ると、第2回と第3回の「利用しない」が(25.0%)・(24.8%)と全体の1/4をしめ、第1回、第4回、そして第5回(今回)とは大きな違いが見られる。なお、前回と今回とでの大きな差は見られない。



問 12 . 保証なしCLO/CBO希望金額と期間

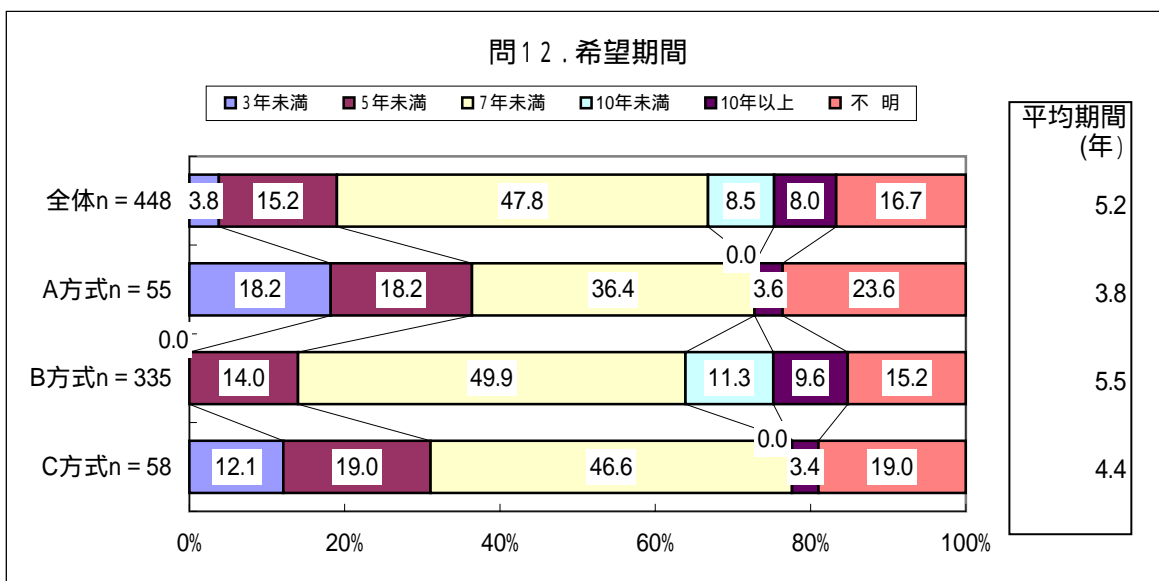
最も多いのは「5千万円～7千万円未満」の(40.0%)であった。
 なお、全体の平均金額は約9,700万円。

- 方式別に見ると、最も多いのはA方式では「1億円～3億円未満」が(38.2%)となっていて、B・C方式は「5千万～7千万円未満」が(42.4%)・(44.8%)とA方式とB・C方式の違いが出ている。
 なお、各方式の平均希望額はA方式(2億5,000万円)、B方式(7,660万円)、C方式(8,700万円)となっている。

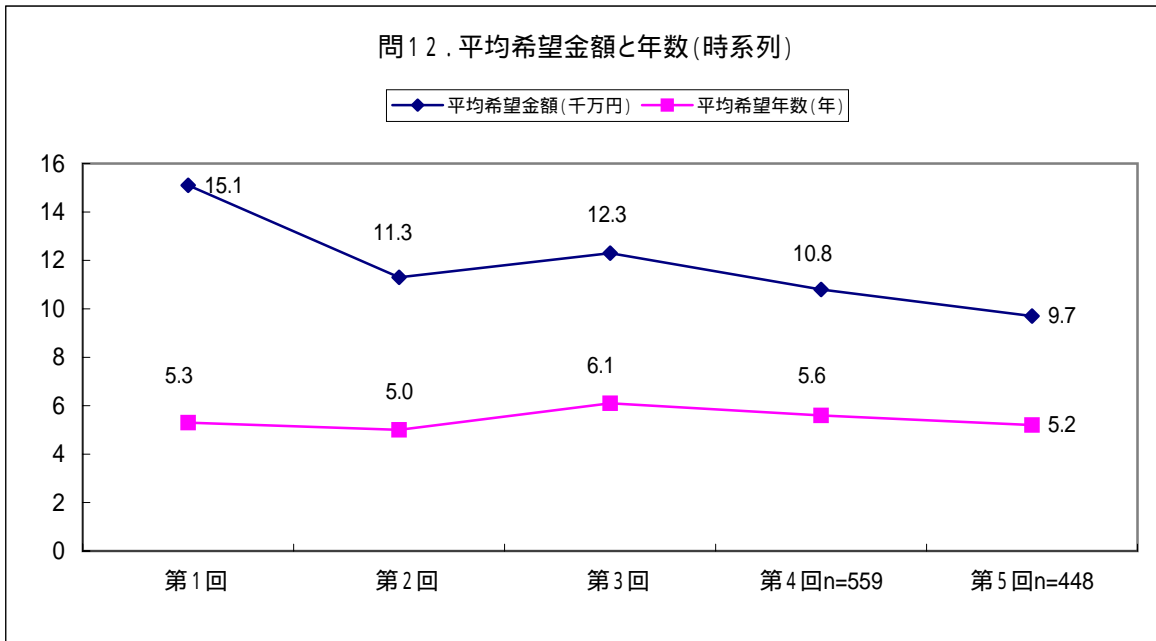


希望期間については、「5年～7年未満」の(47.8%)が最も多く平均期間でも5.2年である。

- 方式別に希望期間を見ると、A・B・C方式とも1位・2位の順位は同じであるが、3位がA・C方式が「3年未満」で(18.2%)・(12.1%)に対しB方式は「7年～10年未満」が(11.3%)となっている。
 なお、各方式の平均希望期間はA方式(3.8年)、B方式(5.5年)、C方式(4.4年)である。



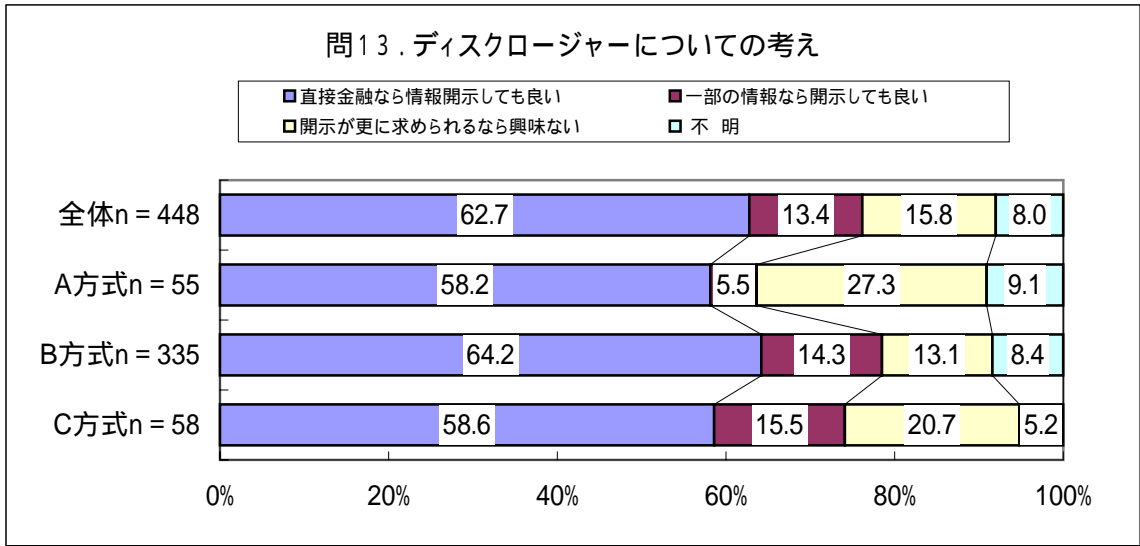
- 時系列で平均希望金額と年数を見ると、希望金額はやや減少し第5回(今回)は、平均9700万円となり、希望年数も平均5.2年となっている。



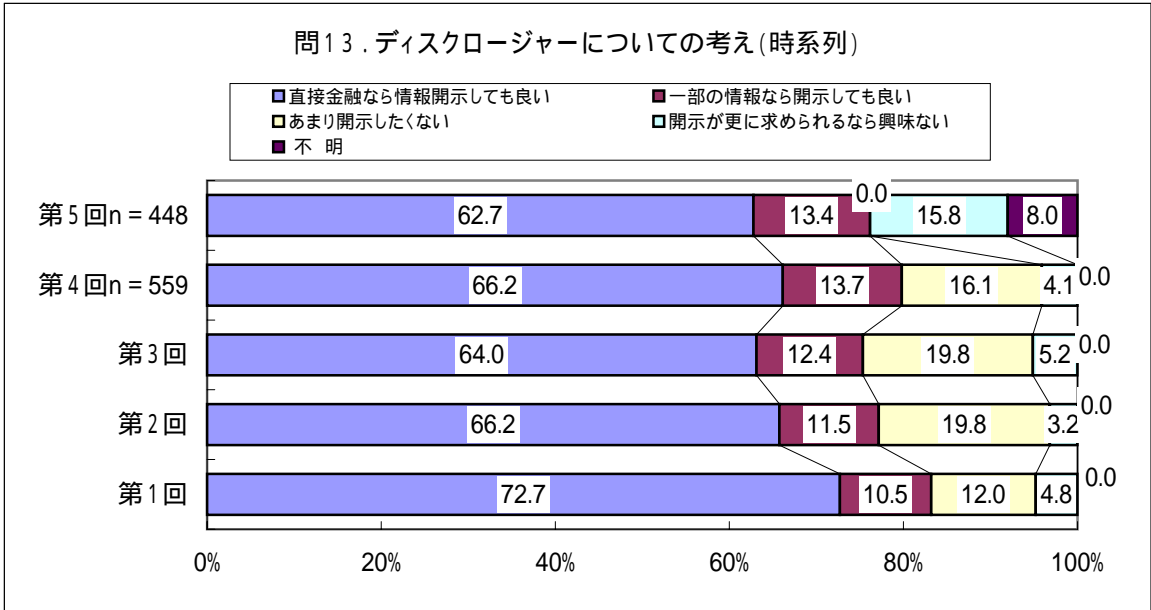
問 13 . ディスクロージャーについての考え

6割が「直接金融なら情報開示しても良い」と回答している。

- 方式別に見ると、各方式とも「直接金融なら情報開示しても良い」が半数以上を占め、A方式(58.2%)、B方式(64.2%)、C方式(58.6%)となっている。しかし、「一部の情報なら開示しても良い」はA方式が(5.5%)に対し、B・C方式は(14.3%)・(15.5%)と10ポイントの差がある。また、「開示が更に求められるなら直接金融には興味がない」はA方式(27.3%に対しB方式(14.3%)、C方式(20.7%)とA方式の方が10ポイント程多い。



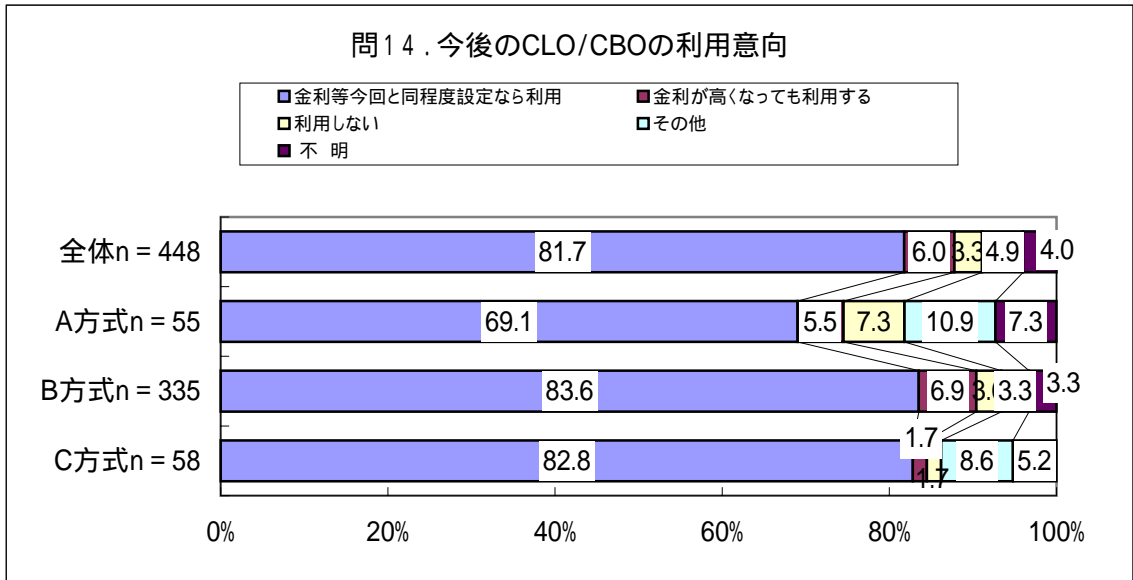
- ディスクロージャーについての考えを時系列で見ると、各方式とも大きな差はないが、今回の回答選択肢に前回までの選択肢「あまり開示したくない」がないため「開示が更に求められるなら興味ない」の回答選択肢に移行したようだ。



問 14 . CLO/CBOの再利用意向

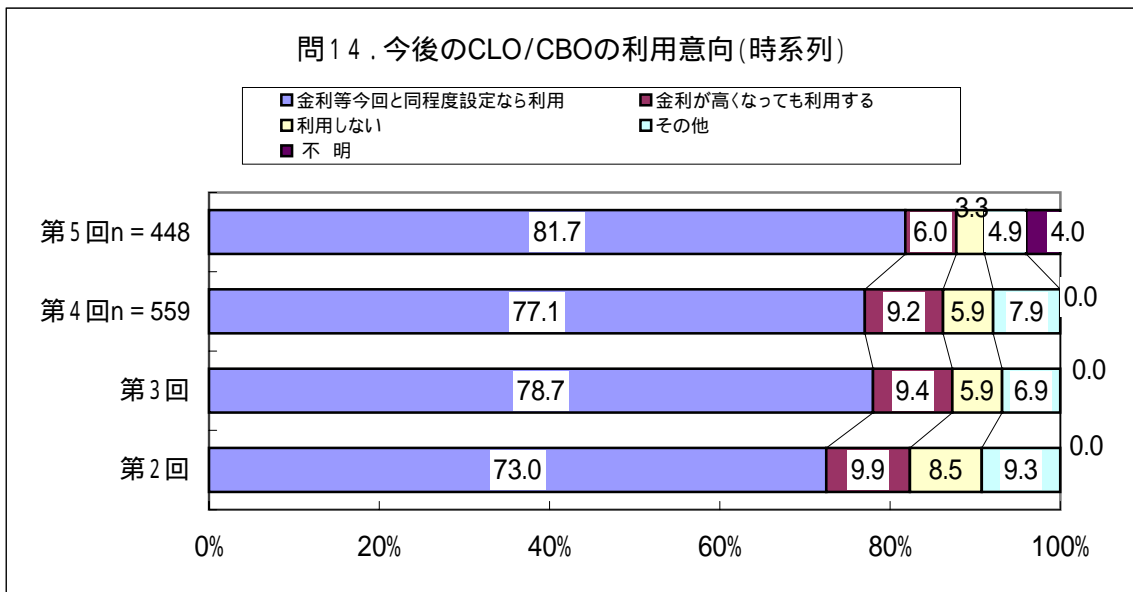
「金利等、今回と同程度の設定なら利用する」が8割以上を占める。

- 方式別に見ると、A方式が(69.1%)、B方式(83.6%)C方式(82.8%)となっているが、A方式の「その他」(10.9%)は金利によるとの回答が含まれている。
全体として大きな差は見られない。



- 今後の利用意向を時系列に見ると、毎回(年々)「金利等今回と同程度設定なら利用」が徐々に増え、「金利が高くなっても利用する」は逆に年々減少している。
また、「利用しない」も同じように減少している。

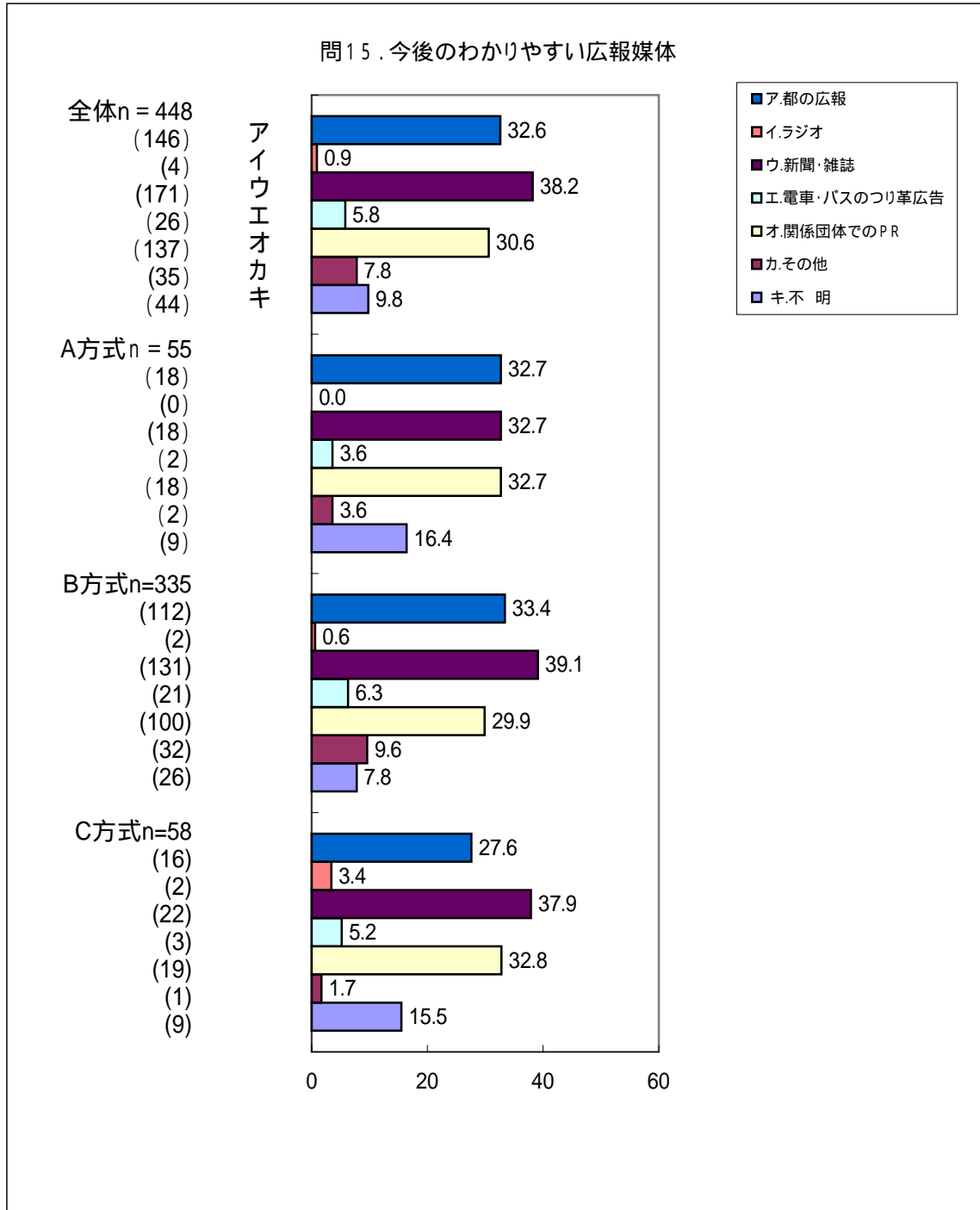
注: 第1回はこの設問はない。



問 15 . 広報媒体について

今後の広報媒体としては、「都の広報」(32.6%)・「新聞・雑誌」(38.2%)・「関係団体でのPR」(30.6%)の三本柱が中心

- 方式別に見ても、各方式とも「都の広報」・「新聞・雑誌」・「関係団体でのPR」の3選択肢がそれぞれ30%前後の回答である。



今回の調査結果を踏まえ、質問項目の「(問12. 利用希望金額別)(問2. 利用希望理由・メリット)及び(問3. 条件面でのネックと今後の改善点)」の二つのクロス集計を行ってみた。

1. 問12. (利用希望金額別)(問2. 利用希望理由・メリット)について

全体及び各方式別については、本文でのべているので、ここでは利用希望金額別に見てみる。対象企業全体では1億円未満と1億円以上で理由・メリットの回答順位に違いがある。

1億円未満での順位は、「金融機関に勧められたから」「無担保の借入ができるから」「保証協会保証枠に係らず利用可能」であるが、1億円以上になると、「無担保の借入ができるから」「会社のイメージアップにつながる」「返済方法が魅力」の項目が目につく。さらに各方式別では、A・B方式での利用希望金額での大きな違いは無いが、C方式をみると「会社のイメージアップにつながる」が増えている。

1. 問12. (利用希望金額別)(問3. 条件面でのネックと今後の改善点)について

「条件面でのネックと今後の改善点」を金額別にみると、対象企業全体では5,000万円未満と1億円以上で順位がやや異なる。5,000万円未満では、「金利が高い」「保証協会の枠は残しておきたい」「金利が直前まで決定しない」であるが、5,000万円以上では「限度額が少ない」「保証協会の枠は残しておきたい」「金利が直前まで決定しない」である。

N12-1 利用希望金額別 問2. 利用希望理由・メリット

全体	A方式 / 一位			B方式 / 一位			C方式 / 一位			二位			三位		
	金融機関に勤められたから (63.8%)	無担保の借入ができたから (43.3%)	保証協会保証枠に關わらず利用可能 (29.9%)	金融機関に勤められたから (81.8%)	無担保の借入ができたから (36.4%)	返済の手法が魅力 (20.0%)	金融機関に勤められたから (60.9%)	無担保の借入ができたから (45.4%)	保証協会保証枠に關わらず利用可能 (33.4%)	金融機関に勤められたから (63.8%)	会社のイメージアップにつながる (44.8%)	金融機関に勤められたから (63.8%)	無担保の借入ができたから (37.9%)	金融機関に勤められたから (63.8%)	会社のイメージアップにつながる (44.8%)
n=448	n=55	n=335	n=58	n=335	n=335	n=58	n=335	n=335	n=58	n=58	n=58	n=58	n=58	n=58	n=58
3,000万円未満 n=17	3,000万円未満 n=1	3,000万円未満 n=15	3,000万円未満 n=1	3,000万円未満 n=15	3,000万円未満 n=15	3,000万円未満 n=1	3,000万円未満 n=15	3,000万円未満 n=15	3,000万円未満 n=1	3,000万円未満 n=1	3,000万円未満 n=1	3,000万円未満 n=1	3,000万円未満 n=1	3,000万円未満 n=1	3,000万円未満 n=1
5,000万円未満 n=48	5,000万円未満 n=1	5,000万円未満 n=41	5,000万円未満 n=1	5,000万円未満 n=41	5,000万円未満 n=41	5,000万円未満 n=1	5,000万円未満 n=41	5,000万円未満 n=41	5,000万円未満 n=1	5,000万円未満 n=1	5,000万円未満 n=1	5,000万円未満 n=1	5,000万円未満 n=1	5,000万円未満 n=1	5,000万円未満 n=1
7,000万円未満 n=181	7,000万円未満 n=13	7,000万円未満 n=142	7,000万円未満 n=13	7,000万円未満 n=142	7,000万円未満 n=142	7,000万円未満 n=13	7,000万円未満 n=142	7,000万円未満 n=142	7,000万円未満 n=13	7,000万円未満 n=13	7,000万円未満 n=13	7,000万円未満 n=13	7,000万円未満 n=13	7,000万円未満 n=13	7,000万円未満 n=13
10,000万円未満 n=14	10,000万円未満 n=0	10,000万円未満 n=13	10,000万円未満 n=0	10,000万円未満 n=13	10,000万円未満 n=13	10,000万円未満 n=0	10,000万円未満 n=13	10,000万円未満 n=13	10,000万円未満 n=0	10,000万円未満 n=0	10,000万円未満 n=0	10,000万円未満 n=0	10,000万円未満 n=0	10,000万円未満 n=0	10,000万円未満 n=0
30,000万円未満 n=100	30,000万円未満 n=21	30,000万円未満 n=67	30,000万円未満 n=21	30,000万円未満 n=67	30,000万円未満 n=67	30,000万円未満 n=21	30,000万円未満 n=67	30,000万円未満 n=67	30,000万円未満 n=21	30,000万円未満 n=21	30,000万円未満 n=21	30,000万円未満 n=21	30,000万円未満 n=21	30,000万円未満 n=21	30,000万円未満 n=21
50,000万円未満 n=5	50,000万円未満 n=3	50,000万円未満 n=2	50,000万円未満 n=3	50,000万円未満 n=2	50,000万円未満 n=2	50,000万円未満 n=3	50,000万円未満 n=2	50,000万円未満 n=2	50,000万円未満 n=3	50,000万円未満 n=0	50,000万円未満 n=0	50,000万円未満 n=0	50,000万円未満 n=0	50,000万円未満 n=0	50,000万円未満 n=0
50,000万円以上 n=8	50,000万円以上 n=3	50,000万円以上 n=4	50,000万円以上 n=3	50,000万円以上 n=4	50,000万円以上 n=4	50,000万円以上 n=3	50,000万円以上 n=4	50,000万円以上 n=4	50,000万円以上 n=3	50,000万円以上 n=1	50,000万円以上 n=1	50,000万円以上 n=1	50,000万円以上 n=1	50,000万円以上 n=1	50,000万円以上 n=1

N12-1 利用希望金額別 問3. 条件でのネックと今後の改善点

全体	A方式 /			B方式 /			C方式 /		
	一位 限度額が 少ない (30.6%)	二位 保証協会の 枠は残 しておきた い (26.1%)	三位 金利が直 前まで決 定しない (23.2%)	一位 金利が直 前まで決 定しない (32.7%)	二位 保証協会の 枠は残 しておきた い (30.7%)	三位 金利が高 い (21.2%)	一位 保証協会の 枠は残 しておきた い (30.7%)	二位 金利が直 前まで決 定しない (23.0%)	三位 金利が高 い (21.2%)
n=448	3,000万 円未満 n=17	保証協会の 枠は残 しておきた い (47.1%)	金利が高 い (29.4%)	金利が直 前まで決 定しない (29.4%)	金利が直 前まで決 定しない (29.4%)	3,000万 円未満 n=1	3,000万 円未満 n=15	3,000万 円未満 n=1	n=58
5,000万 円未満 n=48	金利が高 い (27.1%)	保証協会の 枠は残 しておきた い (27.1%)	金利が直 前まで決 定しない (18.8%)	期間が短 い (100.0%)	保証協会の 枠は残 しておきた い (53.3%)	金利が直 前まで決 定しない (19.5%)	保証協会の 枠は残 しておきた い (26.8%)	金利が高 い (50.0%)	5,000万 円未満 n=6
7,000万 円未満 n=181	限度額が 少ない (30.4%)	保証協会の 枠は残 しておきた い (28.7%)	金利が直 前まで決 定しない (26.0%)	金利が直 前まで決 定しない (38.5%)	保証協会の 枠は残 しておきた い (30.8%)	金利が直 前まで決 定しない (23.1%)	限度額が 少ない (31.7%)	保証協会の 枠は残 しておきた い (30.3%)	7,000万 円未満 n=26
10,000万 円未満 n=14	限度額が 少ない (71.4%)	保証協会の 枠は残 しておきた い (50.0%)	金利が高 い (21.4%)	期間が短 い (100.0%)	保証協会の 枠は残 しておきた い (46.2%)	金利が高 い (23.1%)	限度額が 少ない (69.2%)	保証協会の 枠は残 しておきた い (100.0%)	10,000万 円未満 n=1
30,000万 円未満 n=100	限度額が 少ない (50.0%)	保証協会の 枠は残 しておきた い (25.0%)	金利が直 前まで決 定しない (18.0%)	金利が直 前まで決 定しない (33.3%)	期間が短 い (33.3%)	限度額が 少ない (23.8%)	限度額が 少ない (58.2%)	保証協会の 枠は残 しておきた い (34.3%)	30,000万 円未満 n=12
50,000万 円未満 n=5	期間が短 い (60.0%)	金利が高 い (20.0%)	金利が直 前まで決 定しない (20.0%)	金利が高 い (33.3%)	金利が直 前まで決 定しない (33.3%)	期間が短 い (33.3%)	期間が短 い (100.0%)	限度額が 少ない (50.0%)	50,000万 円未満 n=0
50,000万 円以上 n=8	限度額が 少ない (50.0%)	金利が直 前まで決 定しない (37.5%)	金利が高 い (12.5%)	金利が直 前まで決 定しない (66.7%)	限度額が 少ない (33.3%)	期間が短 い (75.0%)	限度額が 少ない (75.0%)	期間が短 い (100.0%)	50,000万 円以上 n=1

3. 資料 編

債券市場(CLO/CBO)第5回参加企業 アンケートのお願い

貴社におかれましては、ますますご隆盛のこととお慶び申し上げます。
また、先般のローン担保証券(CLO)/社債担保証券(CBO)にご参加いただき、誠にありがとうございます。
第5回債券市場では貴社を含めた約1,550企業に、投資家から約800億円の資金を供給できました。

そこで、今回ご参加された貴社のご意見等を伺い今後の中小企業施策に反映させるため、アンケート調査のお願いをさせていただくことになりました。ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

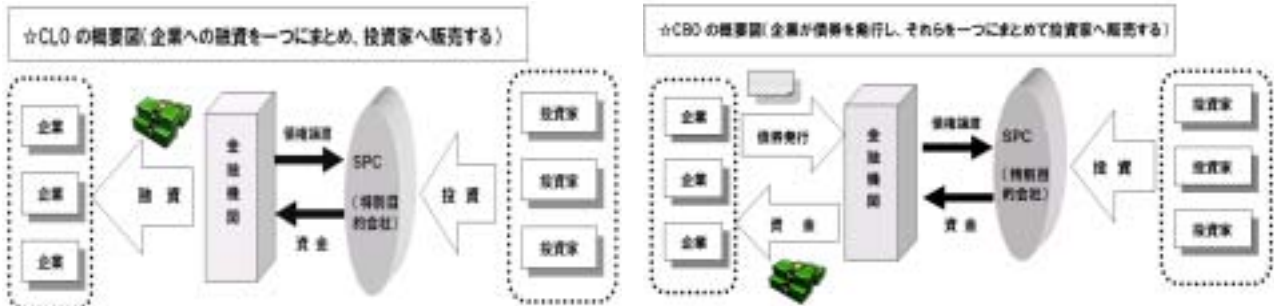
アンケート表のご記入にあたりましては、次の点についてお願い申し上げます。

- ◆設問の中で正確な判断が難しい場合にも、おおよそで結構です。全問にもれなくご回答(該当番号に をつける)下さい。
- ◆ご記入後は調査票(別紙)をそのまま返信用封筒に入れ、6月11日(金)までにポストへ投函していただきたく存じます。
ご不明な点がございましたら、お手数ですが下記までご連絡をお願いします。

・ご回答内容は、今後の債券発行への活用に限定し、外部に個社データが漏れることや第三者が営業活動のために使うことは一切ございません。
・このアンケートは企業の皆様の意向を調査する目的であり、一切の信用保証・ご融資等をお約束するものではありません。
・その他ご不明な点がございましたら下記までお問合せ下さい。

* 本アンケートについて東京都から集計業務を委託しています(株)アイ・スリー・サービスから確認のご連絡をさせていただくことがありますのでご了承ください。

(お問い合わせ)
東京都産業労働局 金融課
債券市場担当 菊池・新田
〒163-8001 東京都新宿区西新宿2-8-1
TEL 03-5320-4806 FAX 03-5388-1464



第1部 今回のローン担保証券(CLO)、社債担保証券(CBO)について

問1. どこでこのCLO/CBOを知りましたか(複数回答可)

- | | | | |
|----------------------------|--------|------------------------|----------|
| 1. 金融機関 | 2. ラジオ | 3. 都の広報(広報東京都・ホームページ等) | 4. 新聞・雑誌 |
| 5. 関係団体(区、東商、中央会、東京都振興公社等) | | 6. その他() | |

問2. CLO/CBOを利用しようと思った理由・メリットは何ですか(複数回答可)

- | | |
|-------------------------|--------------------------|
| 1. とにかく資金が必要だった | 6. 金融機関借入以外の資金調達がしたかった |
| 2. 無担保の借入ができるから | 7. 金融機関に勧められたから |
| 3. 返済の方法が魅力 | 8. 東京都が主導したものだから |
| 4. 以前から株式公開や債券発行に興味があった | 9. 保証協会の保証枠にかかわらず利用できるから |
| 5. 会社のイメージアップにつながるから | 10. その他() |

問3. CLO/CBOの条件面についてネックと感じたこと、今後改善を望むこと(複数回答可)

- | | |
|------------------------|-----------------------------|
| 1. 金利が高い | 5. 限度額が少ない |
| 2. 金利が直前まで決定しない | 6. ディスクロージャー(情報開示)しなくてはならない |
| 3. 返済の方法(期限一括のほうが望ましい) | 7. 保証協会の枠は残しておきたい |
| 4. 期間が短い | 8. その他() |

問4. 今回の申込みに関して感じたこと、改善を望むこと

- | | |
|-------------------------|-----------------------|
| 1. 募集していることをもっと周知してほしい | 5. わかりやすい説明資料がほしい |
| 2. 募集期間が短い | 6. 年に複数回(2回以上)実施してほしい |
| 3. 制度や申込方法、募集の条件が分かりにくい | 7. 毎年定例的に実施してほしい |
| 4. CLO/CBOの違いがよく分からない | 8. その他() |

問5. 今回の資金は何に使う予定ですか(複数回答可)

- | | | | |
|---------|-----------|-----------|----------|
| 1. 設備投資 | 2. 仕入れ資金 | 3. 人件費支払 | 4. 研究開発費 |
| 5. 借換資金 | 6. 手元余裕資金 | 7. その他() | |

▶ 今回、債券市場では、(A)純民間型CLO、(B)保証協会利用型CLO、(C)社債発行型CBO、の3つのしくみで参加企業を募集しました。

問6. ご利用になったもの以外のしくみについても検討されましたか

- | |
|--|
| 1. 他のしくみについても、検討したが(もしくは申込んだが)、条件にあわなかった |
| 2. 他のしくみについても、知っていたが、検討しなかった |
| 3. 他のしくみについては、知らなかったなので、検討しなかった |

問7. CLO/CBOをご利用されていかがだったでしょうか。ご意見や感想、その他何でも結構です。

自由記入

▶ 第2回CLO(H13年3月実行/H16年3月一括償還)を利用された企業さまへお聞きます。

問8. 第2回(3年前の)CLOの資金は主に何に使いましたか(複数回答可)

- | | | | |
|---------|-----------|-----------|----------|
| 1. 設備投資 | 2. 仕入れ資金 | 3. 人件費支払 | 4. 研究開発費 |
| 5. 借換資金 | 6. 手元余裕資金 | 7. その他() | |

第2部 資金調達について

問9. これまでに(今回のCLO/CBO以外)、どのような方法で資金調達していますか(複数回答可)

1. 金融機関からの借入	4. 社債(その他)
2. 株式	5. その他借入
3. 社債(私募債)	6. その他()

問10. 今後、どのような資金調達(金融機関借入以外)をしたいですか(複数回答可)

1. 株式発行(現株主による増資)	5. 取引先等からの借入
2. 株式発行(ベンチャー・キャピタルからの出資受入)	6. その他()
3. 株式発行(その他からの出資受入)	7. な い(金融機関借入のみで良い)
4. 社債発行	

▶保証協会の保証を利用しない CLO、CBOは、保証協会の保証枠に関係なく資金調達ができる反面、企業が支払う金利が高くなる場合がありますが、

問11. 金利水準がどれくらいなら、貴社はCLO・CBOを利用しますか

1. 金利が今回と同程度までなら利用する	4. 金利が5～6%以上高くなっても利用する
2. 金利が1～2%高くなっても利用する	5. 利用しない
3. 金利が3～4%高くなっても利用する	6. その他()

問12. これを実際に行うとしたら、どの程度の金額と期間(年数)を望みますか(数字を記入下さい)

(金額)	(期間)
万円	年

▶新しい資金調達(直接金融)の利用については更なる企業の情報開示が必要になりますが、

問13. ディスクロージャー(情報開示)について貴社ではどのようにお考えですか

1. 直接金融が可能なら決算書の公開等の情報開示をしても構わない
2. 一部の情報なら開示しても良い (開示したくない情報の種類をご記入下さい:)
3. 情報開示が更に求められるなら直接金融には興味がない

問14. 今後、資金調達手段として再度、CLO/CBOを利用する意向はありますか。

1. 金利等、今回と同程度の設定なら利用する	3. 利用しない
2. 金利が高くなっても利用する	4. その他()

問15. 今後、東京都がCLO/CBOを広報するうえで、どのようなかたちがわかりやすいでしょうか。

1. 都の広報(広報東京都・ホームページ等)	2. ラジオ	3. 新聞・雑誌	4. 電車・バスのつり革広告
5. 関係団体でのPR(区、東商、中央会、東京都振興公社等)	6. その他()		

質問は以上です。お忙しい中お時間をいただき、ありがとうございました。 <以下の欄は自由記入です>

貴社名				* 今後取材にご協力頂けるでしょうか?	
ご住所				協力できる	協力できない
電話番号		ご担当部署		ご担当者名	

お手数ですが、6月11日(金)までに調査票(本紙)を返信用封筒に入れ、ご返送ください。

調査結果集計表

(MA)	合 計	Q1 CLO / CBOの認知場所							
		金融機関	ラジオ	都の広報	新聞・雑誌	関係団体	その他	不 明	非該当
全 体	448 100.0	424 94.6	0 0.0	32 7.1	14 3.1	11 2.5	8 1.8	1 0.2	0 0.0
A方式	55 100.0	55 100.0	0 0.0	1 1.8	2 3.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
B方式	335 100.0	316 94.3	0 0.0	20 6.0	10 3.0	10 3.0	8 2.4	1 0.3	0 0.0
C方式	58 100.0	53 91.4	0 0.0	11 19.0	2 3.4	1 1.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0

(MA)	合 計	Q2 利用希望理由・メリット											
		とにかく資金が必要だった	無担保の借入ができるから	返済の方法が魅力	株式公開や債権発行に興味があった	会社のイメージアップにつながる	金融機関借入以外の資金調達希望	金融機関に勧められたから	東京都が主導したもののだから	保証協会保証枠に問わず利用可能	その他	不 明	非該当
全 体	448 100.0	18 4.0	194 43.3	120 26.8	40 8.9	86 19.2	70 15.6	286 63.8	72 16.1	134 29.9	7 1.6	2 0.4	0 0.0
A方式	55 100.0	5 9.1	20 36.4	11 20.0	1 1.8	4 7.3	5 9.1	45 81.8	2 3.6	5 9.1	1 1.8	0 0.0	0 0.0
B方式	335 100.0	12 3.6	152 45.4	104 31.0	31 9.3	56 16.7	48 14.3	204 60.9	61 18.2	112 33.4	5 1.5	2 0.6	0 0.0
C方式	58 100.0	1 1.7	22 37.9	5 8.6	8 13.8	26 44.8	17 29.3	37 63.8	9 15.5	17 29.3	1 1.7	0 0.0	0 0.0

(MA)	合 計	Q3 条件でのネックと今後の改善点									
		金利が高い	金利が直前まで決定しない	返済の方法	期間が短い	限度額が少ない	情報開示しなくてはならない	保証協会の枠は残しておきたい	その他	不 明	非該当
全 体	448 100.0	103 23.0	104 23.2	33 7.4	75 16.7	137 30.6	33 7.4	117 26.1	32 7.1	35 7.8	0 0.0
A方式	55 100.0	13 23.6	18 32.7	2 3.6	14 25.5	9 16.4	6 10.9	5 9.1	1 1.8	4 7.3	0 0.0
B方式	335 100.0	71 21.2	77 23.0	30 9.0	40 11.9	110 32.8	22 6.6	103 30.7	24 7.2	26 7.8	0 0.0
C方式	58 100.0	19 32.8	9 15.5	1 1.7	21 36.2	18 31.0	5 8.6	9 15.5	7 12.1	5 8.6	0 0.0

(MA)	合 計	Q4 申込に関して感じたこと改善点									
		募集をもっと周知してほしい	募集期間が短い	制度や申込方法等が分かりにくい	CLO / CBOの違いが分からない	わかりやすい説明資料がほしい	年に複数回実施してほしい	毎年定期的に実施してほしい	その他	不 明	非該当
全 体	448 100.0	102 22.8	39 8.7	94 21.0	89 19.9	78 17.4	90 20.1	125 27.9	6 1.3	39 8.7	0 0.0
A方式	55 100.0	10 18.2	9 16.4	12 21.8	16 29.1	8 14.5	10 18.2	14 25.5	1 1.8	4 7.3	0 0.0
B方式	335 100.0	78 23.3	21 6.3	66 19.7	58 17.3	62 18.5	69 20.6	89 26.6	5 1.5	31 9.3	0 0.0
C方式	58 100.0	14 24.1	9 15.5	16 27.6	15 25.9	8 13.8	11 19.0	22 37.9	0 0.0	4 6.9	0 0.0

(MA)	合 計	Q5 資金の使途予定								
		設備投資	仕入れ資金	人件費支払	研究開発費	借換資金	手元余裕資金	その他	不 明	非該当
全 体	448 100.0	84 18.8	192 42.9	36 8.0	41 9.2	80 17.9	205 45.8	15 3.3	1 0.2	0 0.0
A方式	55 100.0	6 10.9	18 32.7	2 3.6	0 0.0	20 36.4	21 38.2	3 5.5	1 1.8	0 0.0
B方式	335 100.0	66 19.7	149 44.5	29 8.7	37 11.0	53 15.8	149 44.5	11 3.3	0 0.0	0 0.0
C方式	58 100.0	12 20.7	25 43.1	5 8.6	4 6.9	7 12.1	35 60.3	1 1.7	0 0.0	0 0.0

(SA)	合計	Q6 利用したしくみ以外の検討状況				
		他も検討したが条件にあわなかった	他も知っていたが検討しなかった	他は知らないのと検討しなかった	不明	非該当
全体	448 100.0	29 6.5	64 14.3	329 73.4	26 5.8	0 0.0
A方式	55 100.0	2 3.6	10 18.2	41 74.5	2 3.6	0 0.0
B方式	335 100.0	22 6.6	40 11.9	256 76.4	17 5.1	0 0.0
C方式	58 100.0	5 8.6	14 24.1	32 55.2	7 12.1	0 0.0

(MA)	合計	Q8 第2回CLOの資金の使途						
		設備投資	仕入れ資金	人件費支払	研究開発費	借換資金	手元余裕資金	その他
全体	180 100.0	35 19.4	80 44.4	18 10.0	10 5.6	30 16.7	57 31.7	14 7.8
A方式	30 100.0	4 13.3	11 36.7	2 6.7	0 0.0	8 26.7	9 30.0	3 10.0
B方式	139 100.0	29 20.9	64 46.0	13 9.4	10 7.2	21 15.1	44 31.7	10 7.2
C方式	11 100.0	2 18.2	5 45.5	3 27.3	0 0.0	1 9.1	4 36.4	1 9.1

(MA)	合計	Q9 以前の資金調達方法							
		金融機関からの借入	株式	社債(私募債)	社債(その他)	その他借入	その他	不明	非該当
全体	448 100.0	430 96.0	14 3.1	41 9.2	10 2.2	11 2.5	5 1.1	16 3.6	0 0.0
A方式	55 100.0	48 87.3	2 3.6	10 18.2	3 5.5	3 5.5	0 0.0	5 9.1	0 0.0
B方式	335 100.0	325 97.0	9 2.7	19 5.7	6 1.8	7 2.1	4 1.2	10 3.0	0 0.0
C方式	58 100.0	57 98.3	3 5.2	12 20.7	1 1.7	1 1.7	1 1.7	1 1.7	0 0.0

(MA)	合計	Q10 今後の資金調達方法								
		現株主による増資	ベンチャーキャピタルからの出資受入	その他からの出資受入	社債発行	取引先等からの借入	その他	ない	不明	非該当
全体	448 100.0	82 18.3	34 7.6	54 12.1	103 23.0	3 0.7	6 1.3	219 48.9	34 7.6	0 0.0
A方式	55 100.0	6 10.9	3 5.5	3 5.5	5 9.1	0 0.0	1 1.8	37 67.3	5 9.1	0 0.0
B方式	335 100.0	66 19.7	29 8.7	48 14.3	73 21.8	2 0.6	5 1.5	159 47.5	24 7.2	0 0.0
C方式	58 100.0	10 17.2	2 3.4	3 5.2	25 43.1	1 1.7	0 0.0	23 39.7	5 8.6	0 0.0

(SA)	合計	Q11 利用可能な金利水準							
		今回と同程度までなら利用する	金利が1~2%高くても利用する	金利が3~4%高くても利用する	金利が5~6%以上高くても利用	利用しない	その他	不明	非該当
全体	448 100.0	305 68.1	92 20.5	8 1.8	0 0.0	20 4.5	7 1.6	16 3.6	0 0.0
A方式	55 100.0	38 69.1	4 7.3	1 1.8	0 0.0	7 12.7	2 3.6	3 5.5	0 0.0
B方式	335 100.0	220 65.7	83 24.8	7 2.1	0 0.0	11 3.3	3 0.9	11 3.3	0 0.0
C方式	58 100.0	47 81.0	5 8.6	0 0.0	0 0.0	2 3.4	2 3.4	2 3.4	0 0.0

(SA)	合計	N12-1 利用希望金額									
		3,000万円未満	5,000万円未満	7,000万円未満	10,000万円未満	30,000万円未満	50,000万円未満	50,000万円以上	不明	非該当	平均値
全体	448 100.0	17 3.8	48 10.7	181 40.4	14 3.1	100 22.3	5 1.1	8 1.8	75 16.7	0 0.0	9735.22
A方式	55 100.0	1 1.8	1 1.8	13 23.6	0 0.0	21 38.2	3 5.5	3 5.5	13 23.6	0 0.0	25146.34
B方式	335 100.0	15 4.5	41 12.2	142 42.4	13 3.9	67 20.0	2 0.6	4 1.2	51 15.2	0 0.0	7664.42
C方式	58 100.0	1 1.7	6 10.3	26 44.8	1 1.7	12 20.7	0 0.0	1 1.7	11 19.0	0 0.0	8739.13

(SA)	合計	N12-2 利用希望期間							
		3年未満	5年未満	7年未満	10年未満	10年以上	不明	非該当	平均値
全体	448 100.0	17 3.8	68 15.2	214 47.8	38 8.5	36 8.0	75 16.7	0 0.0	5.21
A方式	55 100.0	10 18.2	10 18.2	20 36.4	0 0.0	2 3.6	13 23.6	0 0.0	3.83
B方式	335 100.0	0 0.0	47 14.0	167 49.9	38 11.3	32 9.6	51 15.2	0 0.0	5.54
C方式	58 100.0	7 12.1	11 19.0	27 46.6	0 0.0	2 3.4	11 19.0	0 0.0	4.37

(SA)	合計	Q13 ディスクロージャーについて				
		直接金融なら情報開示しても良い	一部の情報なら開示しても良い	開示が更に求められるなら興味ない	不明	非該当
全体	448 100.0	281 62.7	60 13.4	71 15.8	36 8.0	0 0.0
A方式	55 100.0	32 58.2	3 5.5	15 27.3	5 9.1	0 0.0
B方式	335 100.0	215 64.2	48 14.3	44 13.1	28 8.4	0 0.0
C方式	58 100.0	34 58.6	9 15.5	12 20.7	3 5.2	0 0.0

(SA)	合計	Q14 今後のCLO/CBO利用意向					
		金利等今回と同程度設定なら利用	金利が高くなっても利用する	利用しない	その他	不明	非該当
全体	448 100.0	366 81.7	27 6.0	15 3.3	22 4.9	18 4.0	0 0.0
A方式	55 100.0	38 69.1	3 5.5	4 7.3	6 10.9	4 7.3	0 0.0
B方式	335 100.0	280 83.6	23 6.9	10 3.0	11 3.3	11 3.3	0 0.0
C方式	58 100.0	48 82.8	1 1.7	1 1.7	5 8.6	3 5.2	0 0.0

(MA)	合計	Q15 わかりやすい広報のかたち							
		都の広報	ラジオ	新聞・雑誌	電車・バスのつり革広告	関係団体でのPR	その他	不明	非該当
全体	448 100.0	146 32.6	4 0.9	171 38.2	26 5.8	137 30.6	35 7.8	44 9.8	0 0.0
A方式	55 100.0	18 32.7	0 0.0	18 32.7	2 3.6	18 32.7	2 3.6	9 16.4	0 0.0
B方式	335 100.0	112 33.4	2 0.6	131 39.1	21 6.3	100 29.9	32 9.6	26 7.8	0 0.0
C方式	58 100.0	16 27.6	2 3.4	22 37.9	3 5.2	19 32.8	1 1.7	9 15.5	0 0.0